

EX-TREND
官公庁 Ver.24

はじめてみよう！
電子納品検査プログラム編

本書は、下図のようなイメージで構成され、
 実際の手順を番号付きで説明しています。
 初心者の方でも、簡単に操作方法をマスター
 できます。

本書の使い方

5-4 エラー内容を入力する(朱書き)

選択したエラーの内容を、図面に朱書きで入力します。朱書きは「R_IND」というレイヤに入力されます。

1 朱書きするエラーを選択します。

2 【朱書き】ボタンをクリックします。

図面上のエラーの要素に、引き出し線と指示内容が朱書きされます。

【朱書き】ボタンをクリックして表示される【朱書き設定】ダイアログで、朱書きの詳細を設定することができます。

5 図面のチェックと朱書き

電子成果品

章のタイトル名 (ツメ) です。

操作の手順とその内容を記載しています。

節のタイトル名 (ツメ) です。

手順に対する場面を示しています。

機能や操作中のポイントに記載しています。

メモに記載しています。

ページ番号です。

17

本書は、下記のような用語やマークを使用して、
 操作を解説しています。

表記について

用語	マーク	説明
クリック	✓	マウスの左ボタンを1回押す動作のことです。
ダブルクリック	✓✓	マウスの左ボタンをすばやく2回押す動作のことです。
ドラッグ&ドロップ		マウスのボタンを押しながらマウスを移動し、移動後にそのボタンを離す動作のことです。
マウスポインタ		マウス本体の動きに合わせて移動するディスプレイ上の白矢印のことです。場面によって変化します。
「 」		メッセージや入力する値などを表します。
[]		メニュー・コマンド・ボタン・画面などの名前を表します。

目次

はじめてみよう!電子納品検査プログラム編

電子成果品

1. 電子納品検査プログラムの起動	2
1-1 プログラムの起動と要領案の選択	2
2. 電子成果品の取り込み	3
2-1 納品された電子成果品をコンピューターに取り込む	3
2-2 画面構成	5
3. 納品データのチェック	6
3-1 取り込んだデータの納品チェック	6
3-2 チェック結果の出力	7
4. 納品成果ファイルのプレビュー確認	8
4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する	8
4-2 書類(PDFファイル)を確認する	9
4-3 書類(Word・Excelファイル)を確認する	10
4-4 図面(SXFファイル)を確認する	11
5. 図面のチェックと朱書き	13
5-1 建設総合システムを起動する	13
5-2 エラーチェックを行う	14
5-3 エラー箇所とエラー内容を確認する	16
5-4 エラー内容を入力する(朱書き)	17
5-5 朱書きした図面ファイルを保存する	18
5-6 建設総合システムを終了する	19

工事写真

1. 電子納品検査プログラムの起動	22
1-1 プログラムの起動と要領案の選択	22
2. 工事写真の取り込み	23
2-1 納品された工事写真をコンピューターに取り込む	23
3. 納品データのチェック	25
3-1 取り込んだデータの納品チェック	25
3-2 チェック結果の出力	26
4. 工事写真のプレビュー確認	27
4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する	27
4-2 工事写真を確認する(その1)	28
4-3 工事写真を確認する(その2)	29
4-4 工事写真を確認する(その3)	30
1. EX-フォトビューアを起動する	30
2. EX-フォトビューアで、写真をチェックする	31
3. チェック結果を出力する	31

電子成果品



納品された電子成果品をコンピューターに取り込んで、検査しましょう。

- 1 電子納品検査プログラムの起動
- 2 電子成果品の取り込み
- 3 納品データのチェック
- 4 納品成果ファイルのプレビュー確認
- 5 図面のチェックと朱書き

1 電子納品検査プログラムの起動

電子納品検査プログラムを起動して、使用する要領・基準案を選択しましょう。

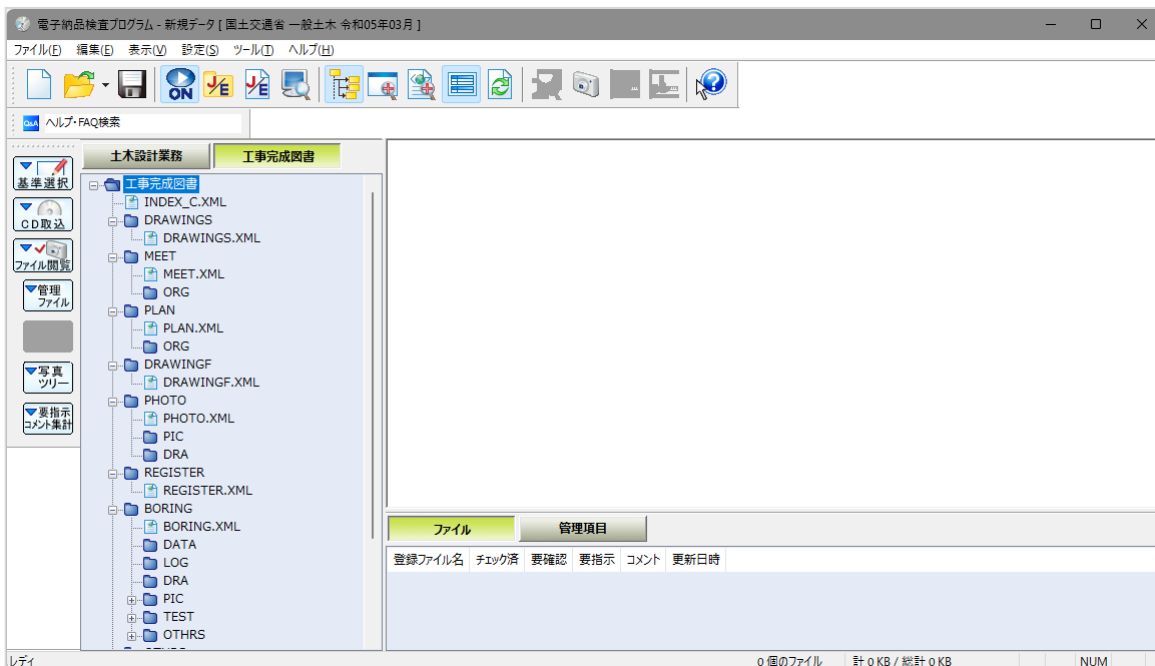
1-1 プログラムの起動と要領案の選択



1 電子納品検査プログラムを起動すると、「電子納品要領・基準案の選択」画面が表示されます。

上から順に、「地域」→「適用事業」→「分野」→「ガイドライン」→「要領・基準」を選択して[OK]をクリックします。

※本書は、「工事完成図書」の
国土交通省
令和05年03月
工事完成図書の電子納品等要領
令和05年03月版
CAD製図基準
平成29年03月版
デジタル写真管理情報基準
令和05年03月版
地質・土質調査成果電子納品要領
平成28年10月版
で解説します。

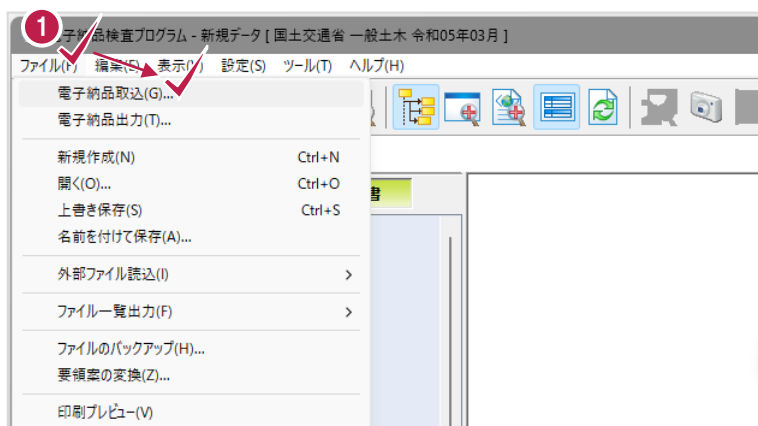


2 電子成果品の取り込み

納品された電子納品成果品をコンピューターに取り込みましょう。
※ 情報共有システムの「工事帳票」も、同様の手順で取り込めます。

2-1 納品された電子成果品をコンピューターに取り込む

電子納品検査プログラムに「電子成果品」を取り込みます。

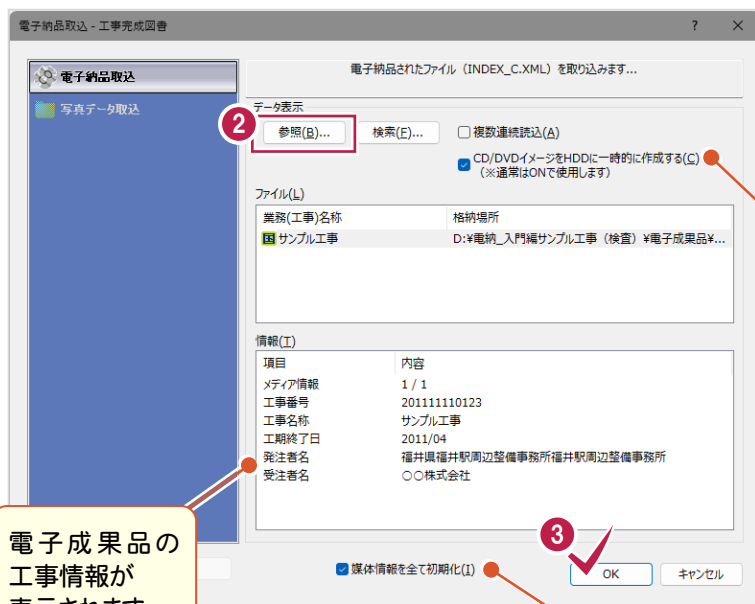


1 [ファイル]－[電子納品取込]コマンドをクリックします。

2 [参照]ボタンを押して、納品された電子成果品の
“工事完成図書管理ファイル”
(INDEX_C.XML)
を開きます。

3 工事情報を確認し、[OK]をクリックします。

4 新規取り込みの確認のメッセージが表示されます。
[はい]をクリックしてください。



電子成果品の
工事情報が
表示されます。

「CD/DVD イメージを HDD に一時的に作成する」とは

CDまたはDVDの内容を、検査用にハードディスクにコピーします。特に複数枚にわたるCDまたはDVDを検査する場合は、コピーしないと正常に検査できません。

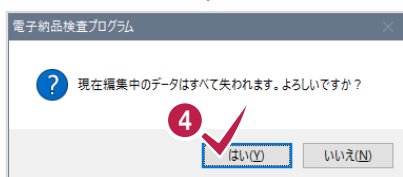
納品されたCDまたはDVDが1枚の場合は、チェック「オフ」でも検査可能ですが、CDまたはDVDをドライブに入れたままにしておく必要があります。

「媒体情報を全て初期化」とは

通常は「オン」で使用してください。

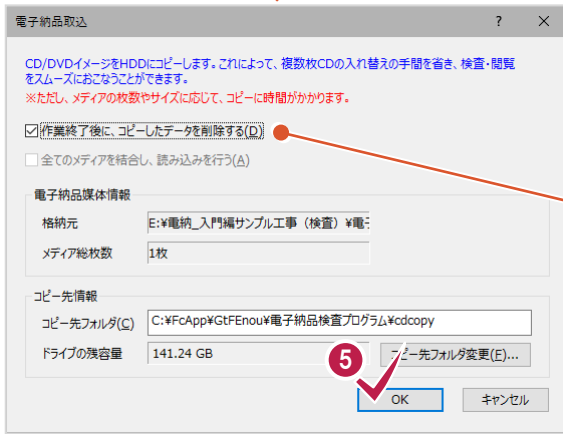
オン：編集中のデータを削除して、新規で取り込みます。

オフ：編集中のデータに、追加で取り込みます。



次ページへ

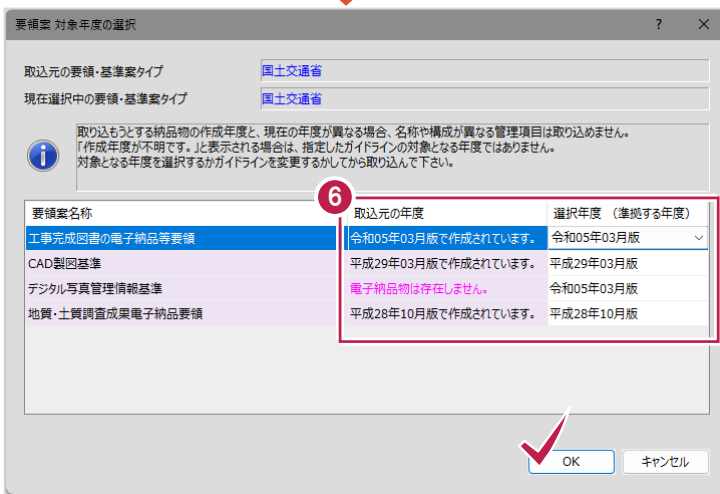
続き ↓



5 CDのハードディスクへのコピー先が表示されます。確認後、[OK]をクリックします。

CDまたはDVDの内容を、検査後もハードディスクに残しておきたい時は、チェックボックスを「オフ」にします。

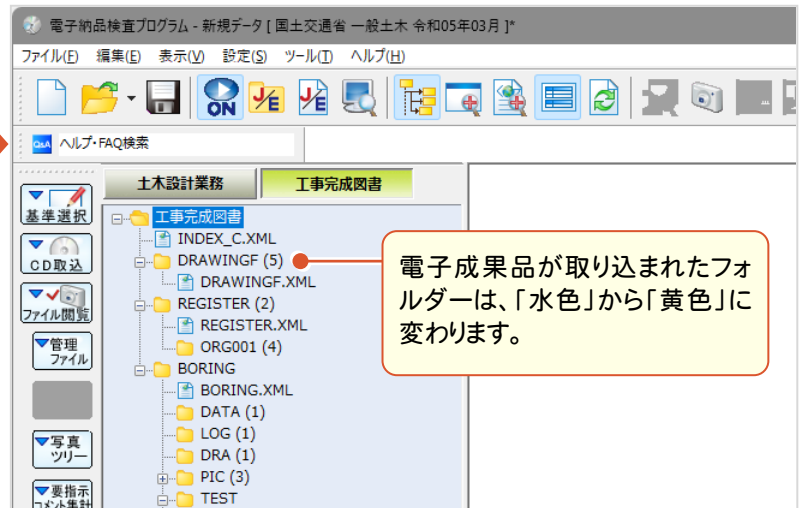
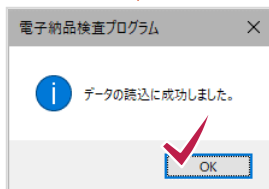
コピー先のフォルダーの場所を覚えておいて、使用しなくなったら忘れずにデータを削除してください。



6 「取込元の年度」(電子成果品の年度)と、「選択年度(準拠する年度)」(検査プログラム側の年度)が表示されます。

同一であることを確認して[OK]をクリックしてください。

電子成果品が取り込まれます。



電子成果品が取り込まれたフォルダーは、「水色」から「黄色」に変わります。

メモ

電子納品データの取り込みは、コマンドバーからも行えます

コマンドバーの[CD 取込] ボタンで、電子納品データを取り込みます。

またコマンドバーから[CD 取込]を行うと、「取り込んだデータの納品チェック」(P.6 参照)が、続けて自動実行されます。



2-2 画面構成

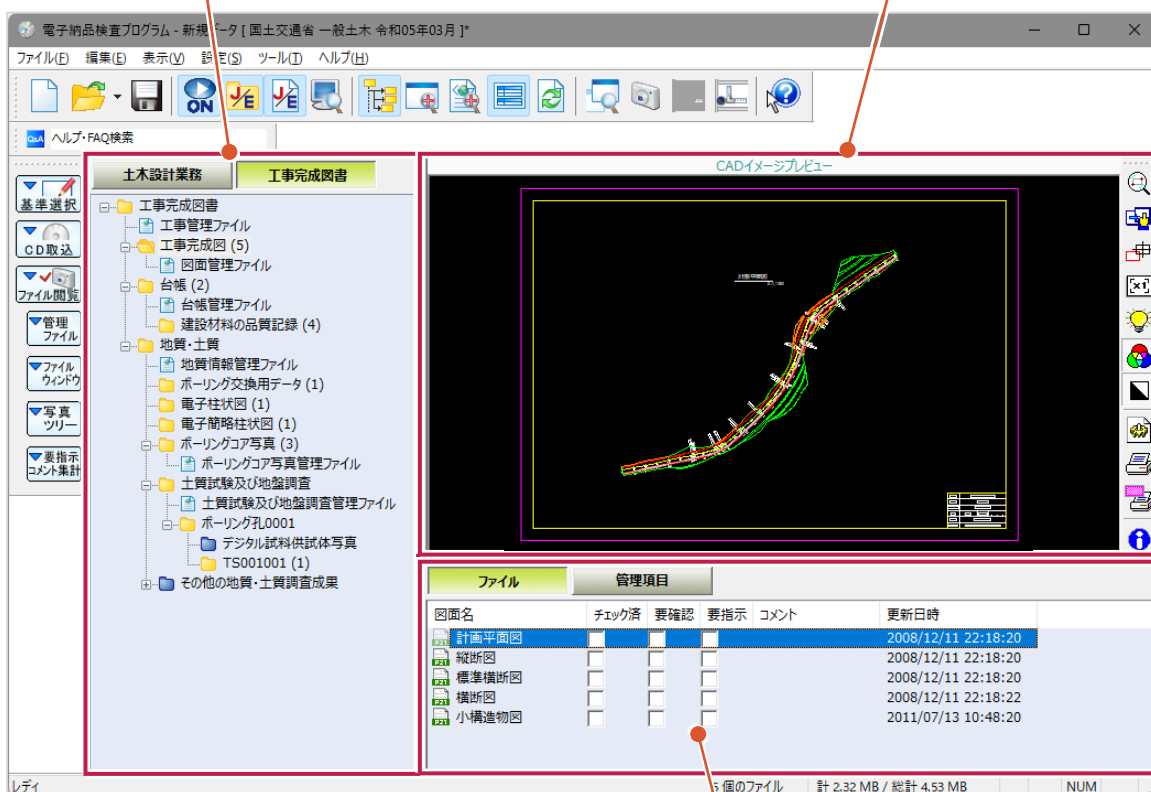
【ツリービュー】

電子納品に必要な規定フォルダの一覧を表示します。任意フォルダも作成可能です。フォルダ名称右の () は、登録ファイル数を示します。

【プレビュー】

【リストビュー】で選択したファイルのイメージを表示します。閲覧できる主なファイル形式は TXT、CSV、RTF、DOC、XLS、PDF、BMP、JPG、TIF、GIF、SFC、P21、DXF、DWG、DMなどです。

補足: [表示] - [プレビュー表示] コマンドが有効になっている必要があります。コマンド名の先頭に、レ点チェックがついていれば有効状態です。



【リストビュー】

【ツリービュー】で選択したフォルダ内の登録ファイルの一覧を表示します。

補足: チェックボックスは、閲覧やチェックの状況など、ご自由にお使いください。

メモ

フォルダ名とファイル名の日本語表示 ↔ 英語表示の切り替え

ツールバーのボタン(右図)で日本語表示と英語表示を切り替えられます。

- ① のボタン: ツリービューのフォルダ名の切り替え
- ② のボタン: リストビューのファイル名の切り替え

※ 本書では、日本語表示の状態で解説します。

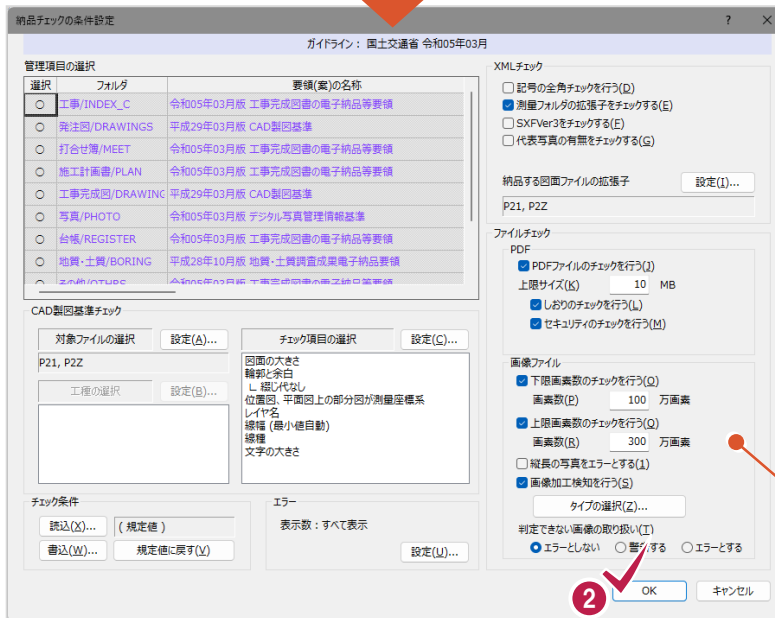
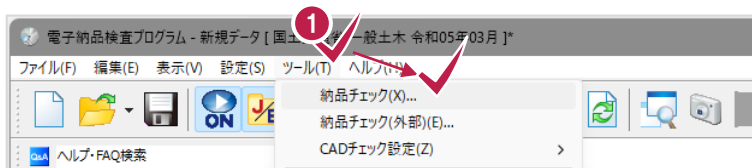


3 納品データのチェック

取り込んだ電子納品成果品をチェックしましょう。

3-1 取り込んだデータの納品チェック

必須記入項目での入力漏れや、不適切な入力がないかを電子納品要領に基づいてチェックします。



1 [ツール]—[納品チェック]コマンドをクリックします。

2 [納品チェックの条件設定]ダイアログが表示されます。
[XMLチェック][ファイルチェック]の各項目を、ガイドラインや受発注者間での協議などに従って設定し、[OK]をクリックします。

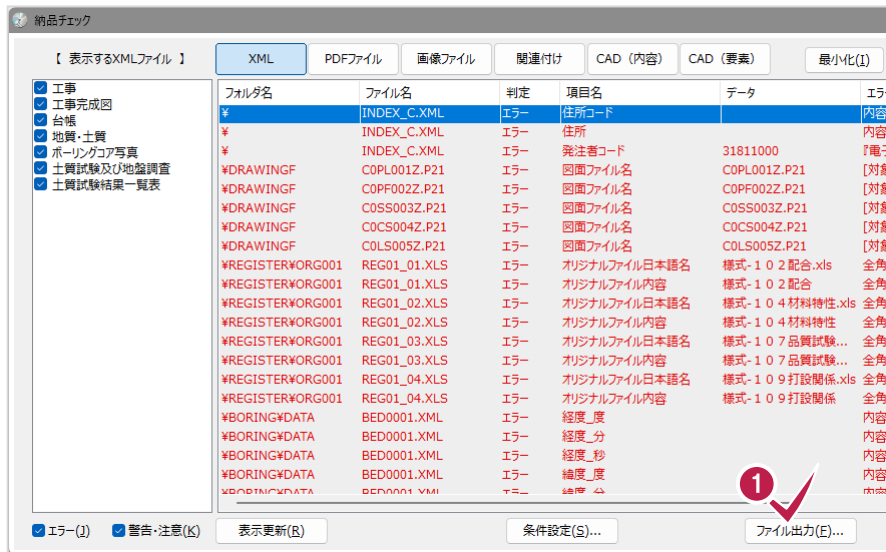
3 [納品チェック結果一覧]が表示されます。エラーが赤字でリスト表示されます。(青字は注意事項)
各タブを切り替えてエラーを確認してください。

納品チェックの設定は、プログラムの起動時に選択した基準案によって自動設定されますので、通常は変更する必要ありません。



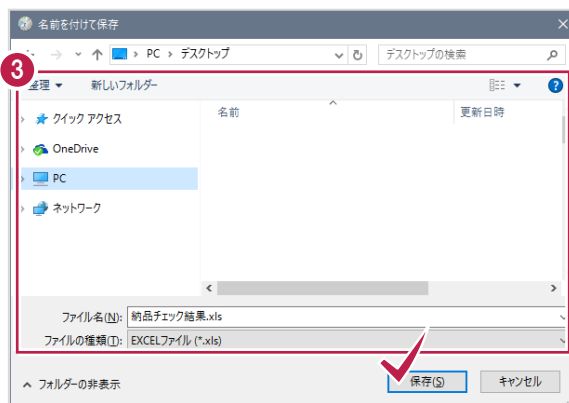
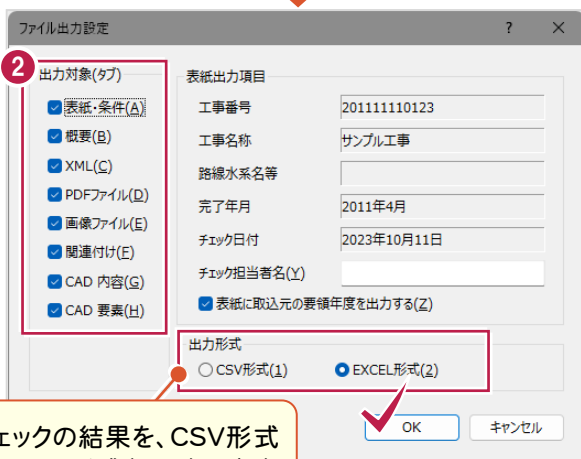
3-2 チェック結果の出力

チェック結果をファイル(CSVまたはEXCEL形式)に出力します。
 成果提出者に対し、メール等でファイルを送り、修正指示できます。



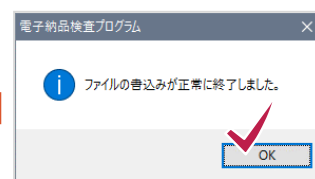
- 1 [ファイル出力] ボタンをクリックします。
- 2 出力するタブと出力形式を選択して、[OK]をクリックします。
- 3 保存先のフォルダーとファイル名を指定して、[保存]をクリックします。

チェック結果が出力されます。



納品チェックの結果を、CSV形式またはEXCEL形式(XLS)で出力できます。

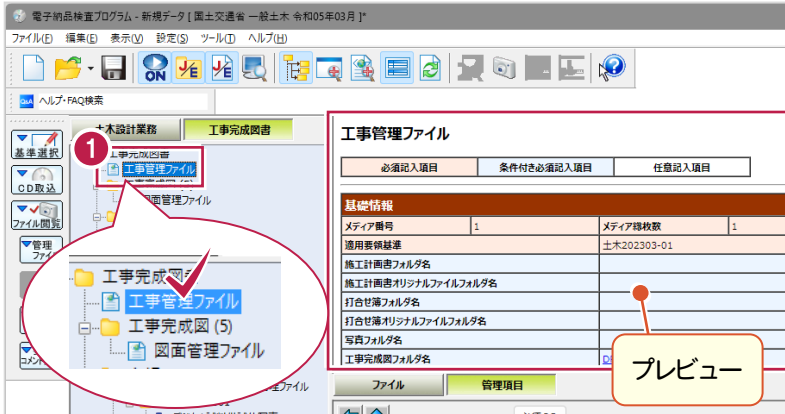
チェック結果			
Version	:	24.0.21754	
チェック日	:	2023年10月11日	
担当者	:		
工事名称	:	サンプル工事	
工事番号	:	201111110123	
XML チェック	:	79 (2) 件	
画像ファイル チェック	:	0 (0) 件	(信頼性チェック : 0 枚)
関連付け チェック	:	0 (0) 件	
CAD(内容) チェック	:	0 (0) 件	
CAD(要素) チェック	:	0 (0) 件	※エラー数(警告、注意等の数) 件
【 選択した要領(案) 】		【 取込元年度 】	
ガイドライン	:	国土交通省 令和05年03月	
工事/INDEX.C	:	令和05年03月版 工事完成図書の電子納品等要領	令和05年03月版
工事完成図/DRAWINGF	:	平成29年03月版 CAD製図基準	平成29年03月版
台帳/REGISTER	:	令和05年03月版 工事完成図書の電子納品等要領	令和05年03月版
地質・土質/BORING	:	平成28年10月版 地質・土質調査成果電子納品要領	平成28年10月版



4 納品成果ファイルのプレビュー確認

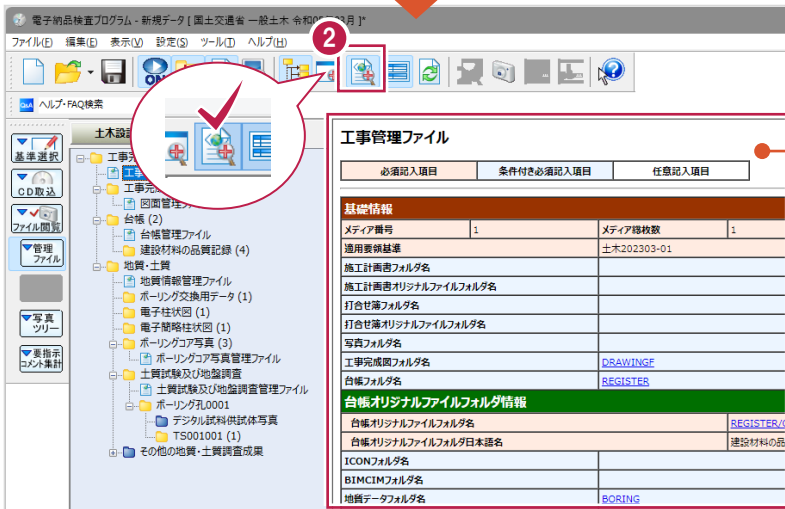
成果ファイルをプレビューで閲覧・確認しましょう。

4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する



1 ツリービューで管理ファイル(XMLファイル)を選択すると、プレビューが表示されます。

2 ツールバーの[プレビュー画面の表示領域拡大]コマンドを「オン」にすると、プレビューが拡大されて見やすくなります。
確認を終えたら「オフ」に戻します。



プレビューの表示領域を拡大して見やすくします。

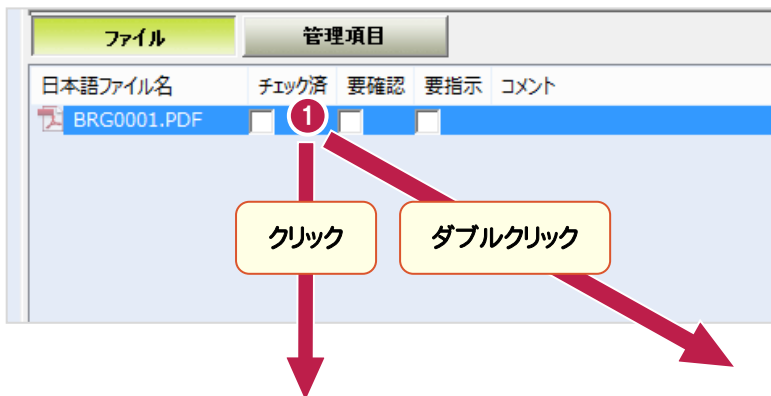
メモ

XMLファイルのプレビューでの操作 (印刷など)



プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」で行ってください。

4-2 書類(PDFファイル)を確認する

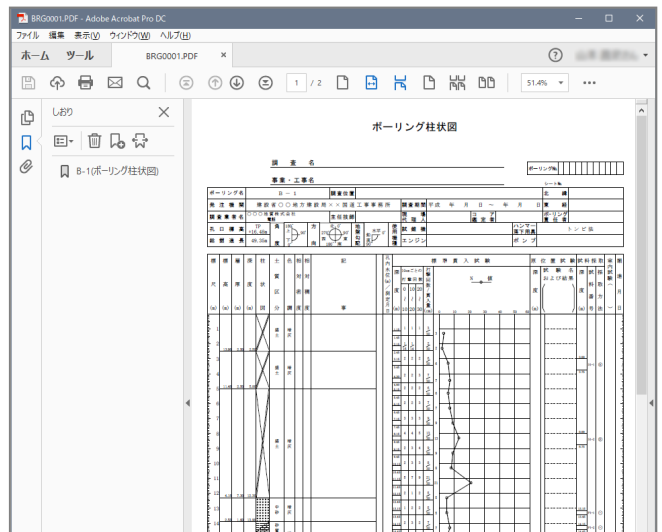


1 ツリービューで書類が格納されたフォルダを開き、リストビューでPDFファイルをクリックまたはダブルクリックすると、プレビューが表示されます。

プレビュー



別プログラム(Adobe Acrobatなど)起動

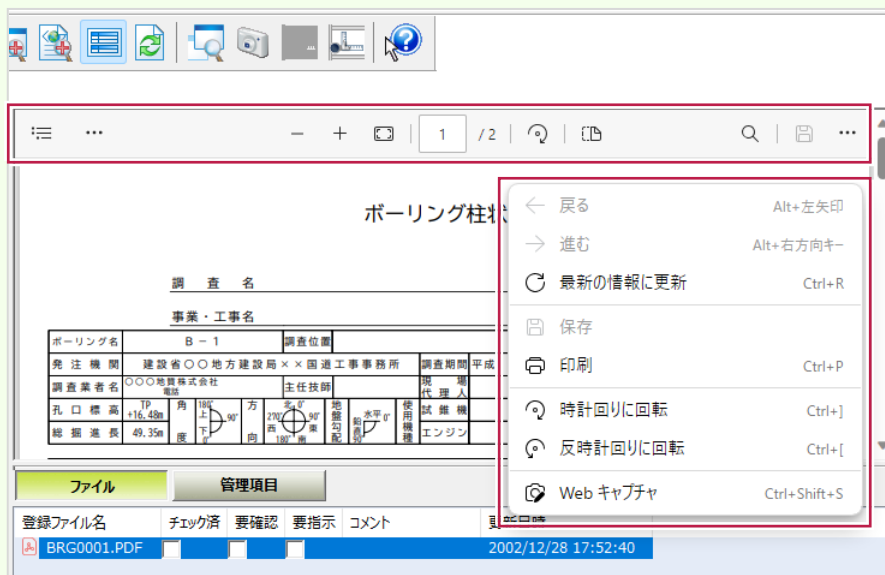


メモ

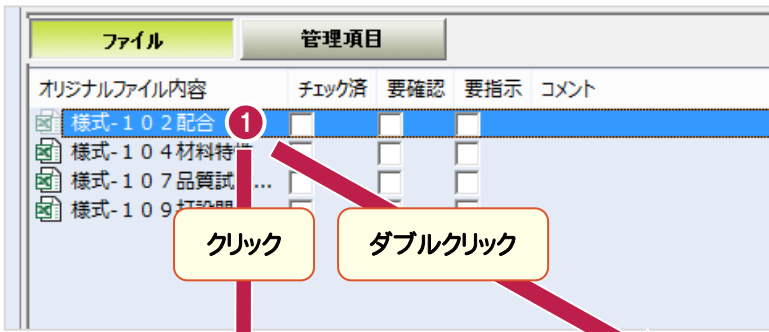
PDF ファイルのプレビューでの操作

プレビューでの操作は、「ツールバー」や、右クリックで表示される「ポップアップメニュー」などで行ってください。

※ Adobe Reader (または Adobe Acrobat) のバージョンやユーザーのカスタマイズによっては、下記画面の「ツールバー」「ポップアップメニュー」と異なる場合があります。



4-3 書類 (Word・Excel ファイル)を確認する

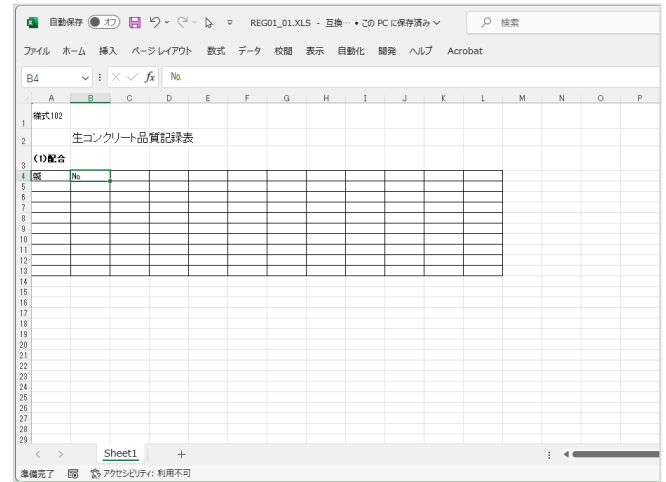


1 ツリービューで書類が格納されたフォルダを開き、リストビューでWordファイルやExcelファイルをクリックまたはダブルクリックすると、プレビューが表示されます。

プレビュー

※ 下画面はExcelです。

別プログラム (Word・Excel) 起動

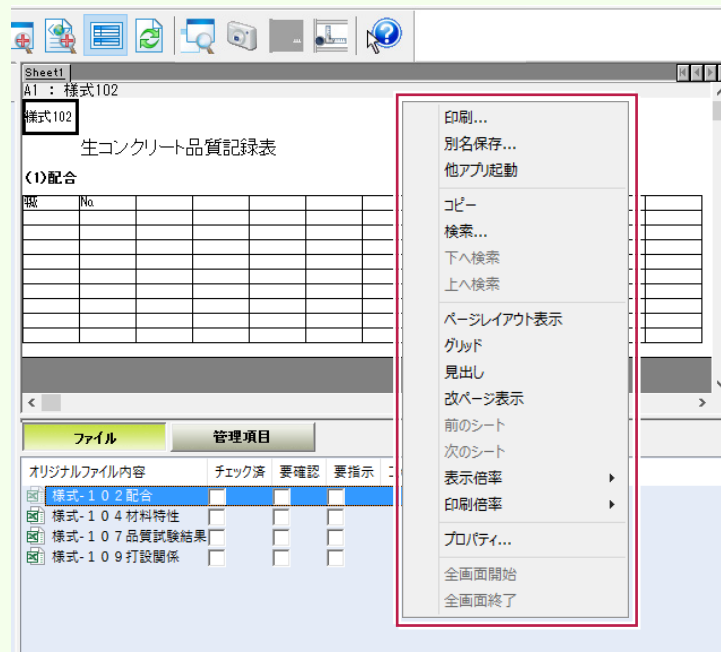


4

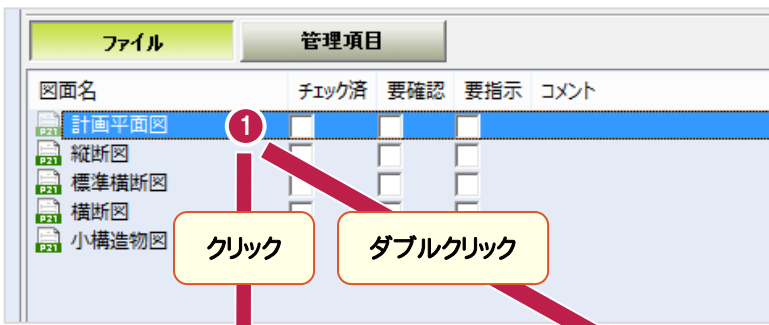
メモ

Word・Excel ファイルのプレビューでの操作

プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」で行ってください。

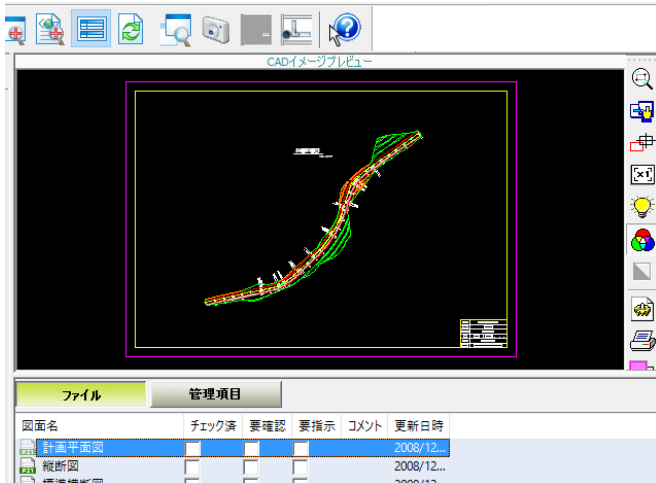


4-4 図面(SXFファイル)を確認する

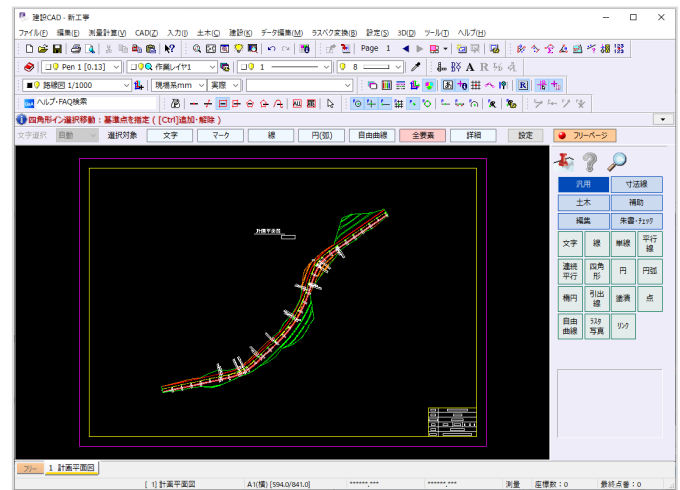


1 ツリービューで図面が格納されたフォルダを開き、リストビューで図面(SXF)ファイルをクリックまたはダブルクリックすると、プレビューが表示されます。

プレビュー



別プログラム(建設CAD)起動














メモ

図面ファイルのプレビューでの操作

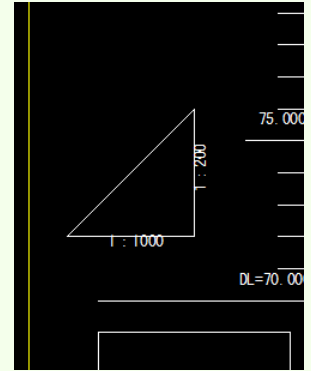
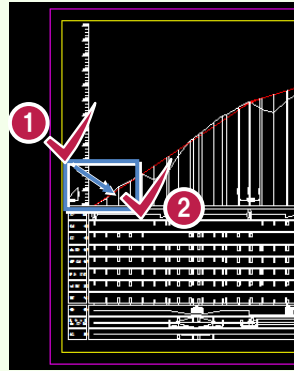
プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」または「プレビュー右側のアイコン」で行ってください。

各コマンドの操作については、次ページを参照してください。

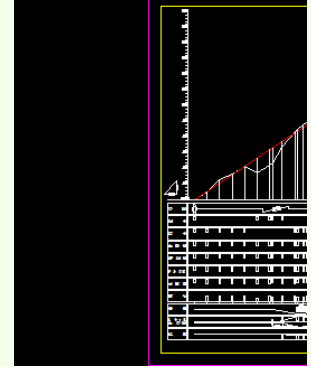
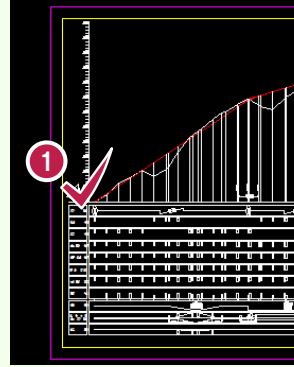


- 1  **拡大**
1→2 クリックで枠内の図面を拡大表示します。
- 2  **画面移動**
このコマンドを実行するとマウスカーソルが「手のひら」になります。画面上で左ボタンを押下し、ドラッグすることで画面移動します。
- 3  **移動**
図面上でクリックした位置が、プレビュー画面の中心に移動します。
- 4  **原図**
最初の表示状態に戻ります(用紙枠が表示エリアの中に収まるように表示します)。
- 5  **再描画**
要素の移動や削除の繰り返しでCAD画面の表示が乱れているときなどに、表示を正常に戻します。
- 6  **カラー表示**
CAD データの持つ要素色で表示します。
OFF の状態では白黒表示になります。
- 7  **背景白黒反転**
プレビューの表示色を反転します。
(SXF Ver.3 では使用できません。)
- 8  **ヘッダー/フッター**
“ファイル名”“日付”“任意文字列”のいずれかを、ヘッダーあるいはフッターに印刷させる機能です。
- 9  **印刷**
用紙枠内のデータを、プリンタの用紙サイズに収まる形で印刷します。
- 10  **部分印刷**
1→2 クリックで枠内の図面を印刷します。
2点目を指定する際、プリンタ設定で設定されている用紙サイズ以上には大きく指定できないようになっています。
- 11  **情報表示**
SXF ファイルのファイル情報(ファイル名、ファイルバージョン、トランスレータ名、共通ライブラリバージョン)を表示します。
- 12 **その他**
マウスホイールで拡大縮小します。

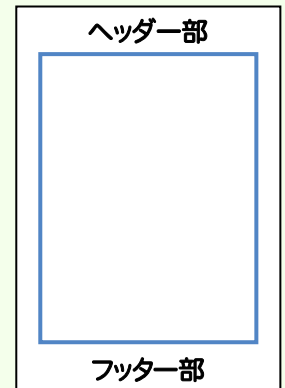
1. 拡大



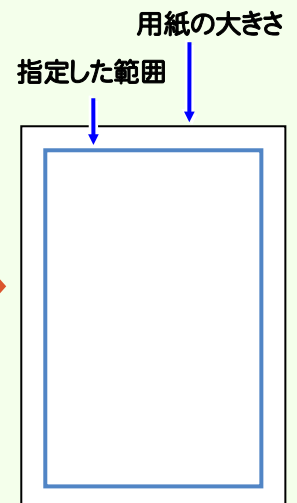
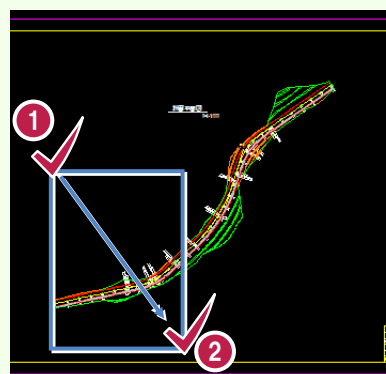
3. 移動



8. ヘッダー/フッター



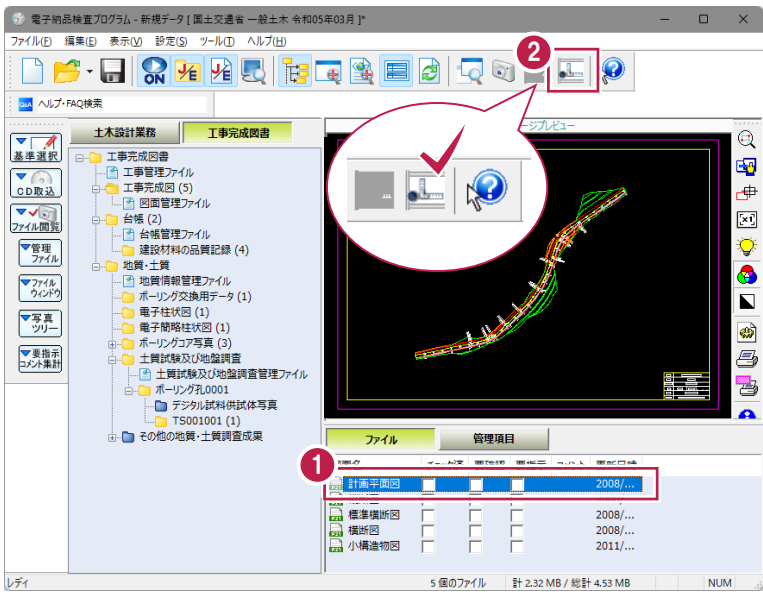
10. 部分印刷



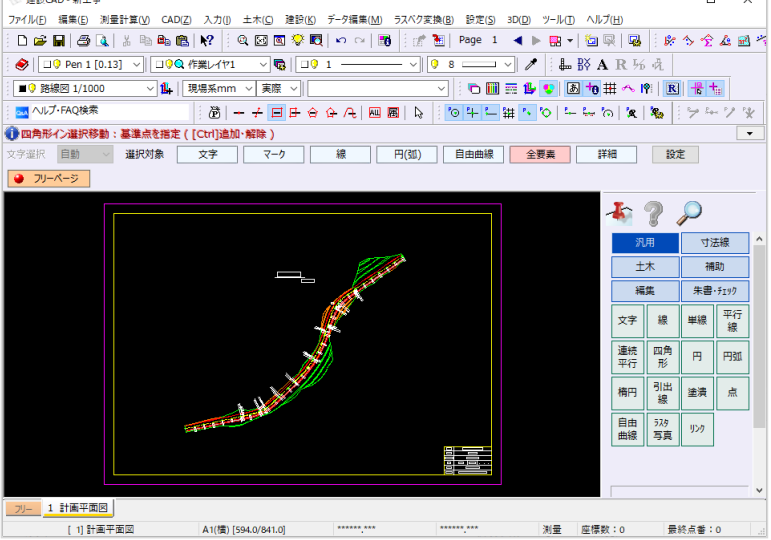
5 図面のチェックと朱書き

図面を建設総合システムでチェックして、朱書きを行いましょう。

5-1 建設総合システムを起動する



- 1 リストビューで、チェックする図面ファイル(SXFファイル)を選択します。
- 2 ツールバーの[編集・変更]コマンドをクリックします。
- 3 読み込み結果を確認して、[OK]をクリックします。
建設総合システムが起動します。



メモ TRENDff で[編集・変更]を行う場合は

インストール済みの「TRENDff」で[編集・変更]を行う場合は[ツール]－[オプション]コマンドの[その他]タブで、使用する CAD アプリケーションを切り替えてください。

オプション

全般 既定のフォルダ バックアップ 配色 外部ツール設定 基準: **その他**

プレビュー表示
 PDF表示に Acrobat Reader を使用する(A)
 アプリケーションからファイルを開く
 マウス左ダブルクリックを使用する (リストビュー) (M)

メニュー/ボタン 表示
 [ファイル]-[開く]を有効にする(O)
 編集を可能にする(F)

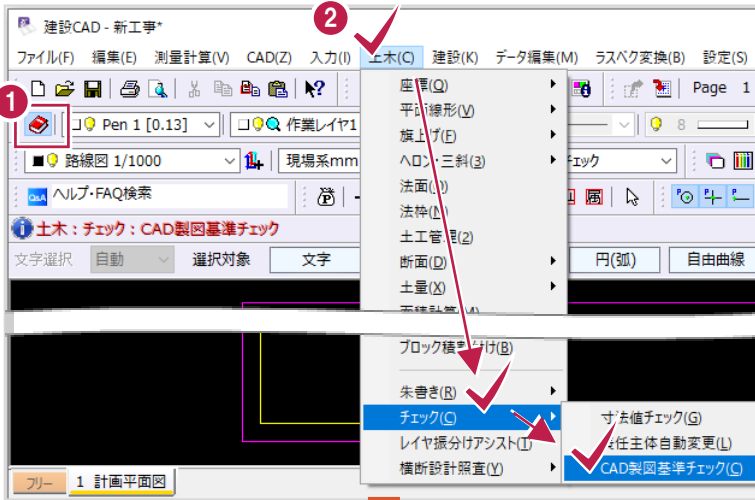
CADアプリケーションの選択
 「編集・変更」コマンドで使用するCADアプリケーションを選択する
 TRENDff(T)
 建設総合システム(C)

本書では「建設総合システム」の場合で解説します。

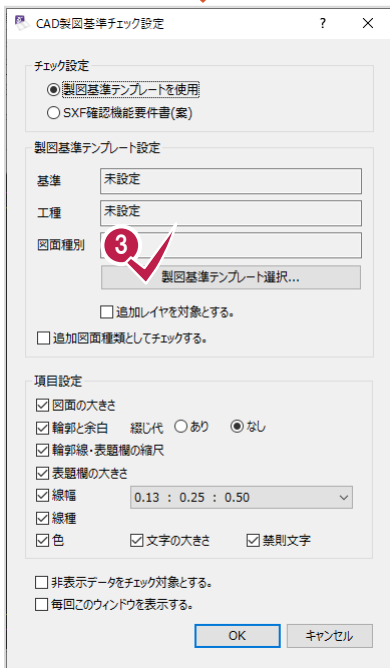
5 図面のチェックと朱書き

5-2 エラーチェックを行う

建設総合システムで開いた図面を、CAD製図基準にしたがってチェックします。
訂正が必要な箇所には、朱書きを入力します。



- 1 [製図基準連動]をオンにします。
- 2 [土木]–[チェック]–[CAD製図基準チェック]コマンドをクリックします。
- 3 [CAD製図基準チェック設定]ダイアログが表示されます。
[製図基準テンプレート選択]ボタンをクリックします。

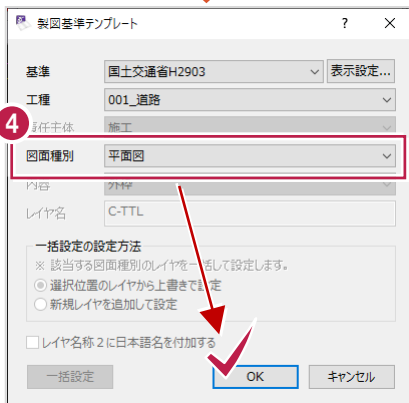
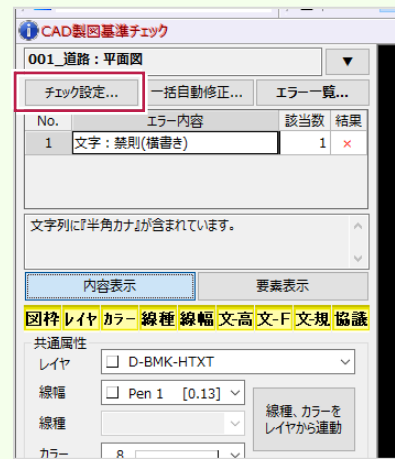


メモ

[CAD 製図基準チェック設定]ダイアログが開かない場合は

図面読み込み時に製図基準テンプレートが設定された場合は[CAD 製図基準チェック設定]ダイアログが開きません。

その場合は[チェック設定]ボタンをクリックして開いてください。



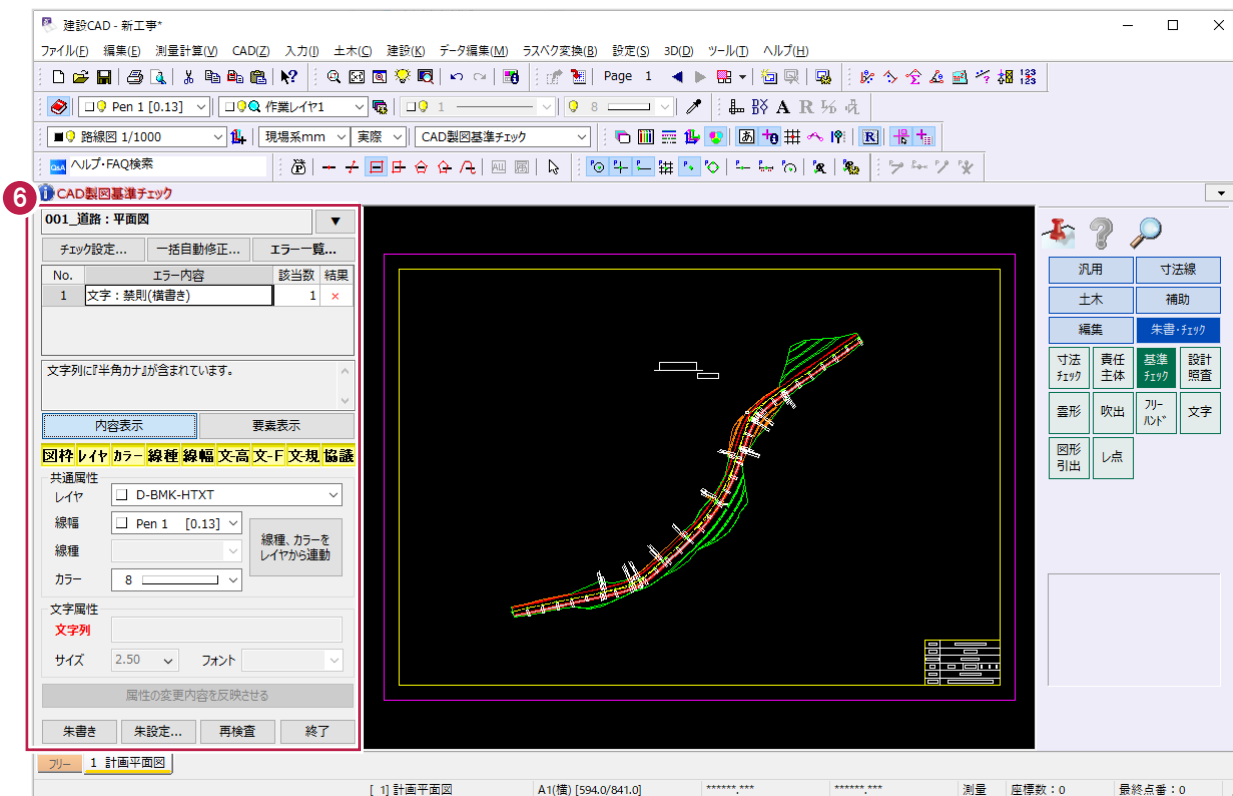
- 4 図面のチェック内容を設定します。
ここでは平面図をチェックするので、
[図面種別]を「平面図」に設定して
[OK]をクリックします。

次ページへ

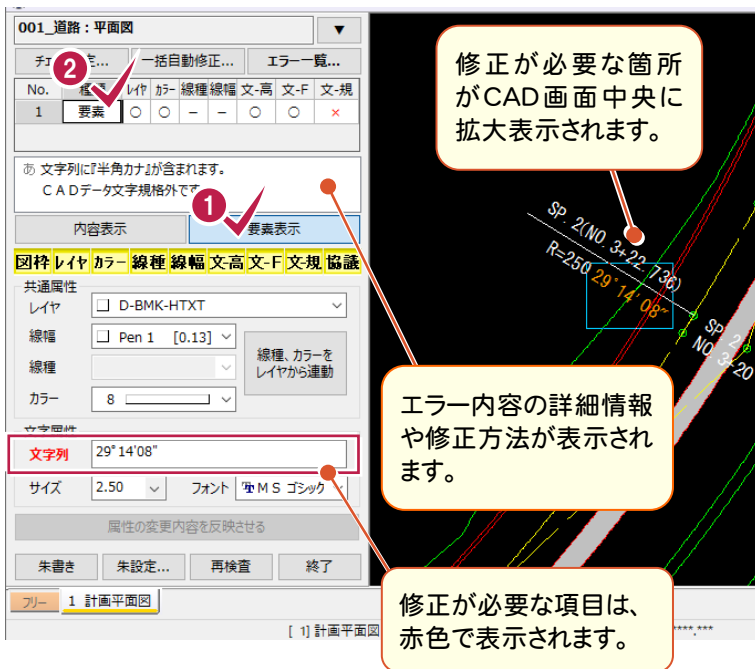


5 [CAD製図基準チェック設定]ダイアログに戻ります。
[OK]をクリックします。

6 CAD製図基準チェックが実行され、画面左にチェック結果画面が表示されます。



5-3 エラー箇所とエラー内容を確認する



1 [要素表示]をクリックします。
チェック結果画面が、要素表示に切り替わります。

2 チェック結果画面で、確認する要素をクリックします。

選択された要素がCAD画面中央に拡大表示されます。

また、チェック結果画面下部には、現在の属性が表示されます。

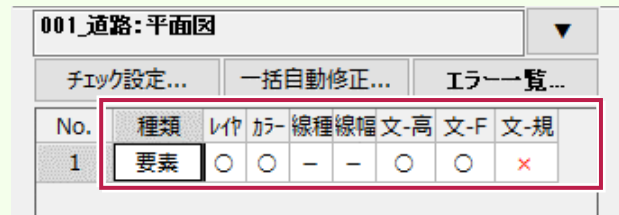
修正が必要な項目は、赤色で表示されます。

5

メモ

「要素表示」の項目について

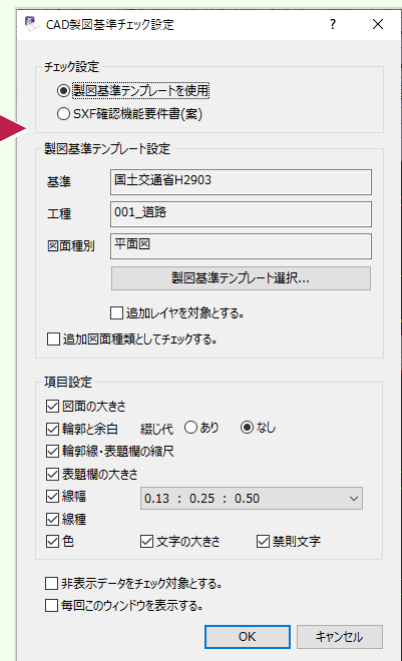
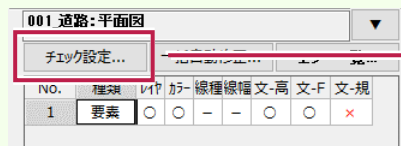
- [種類]：エラーの種類（用紙、枠、輪郭線、要素など）
- [レイヤ]：レイヤ名
- [カラー]：線色
- [線種]：線種
- [線幅]：線の太さ
- [文・高]：文字の大きさ
- [文・F]：文字フォント
- [文・規]：禁則文字（㎡、株など）



メモ

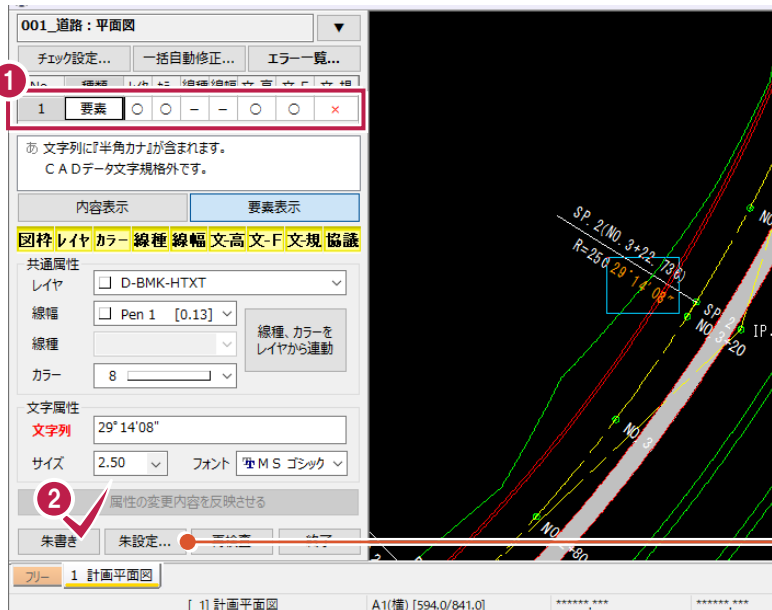
チェック内容の確認や変更は

チェック結果画面の[チェック設定]ボタンから表示される、[CAD 製図基準チェック設定]ダイアログで、チェック内容を確認・変更できます。



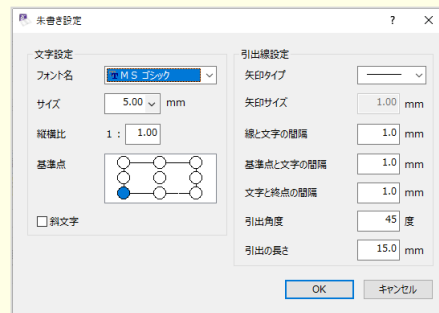
5-4 エラー内容を入力する(朱書き)

選択したエラーの内容を、図面に朱書きで入力します。朱書きは「R_IND」というレイヤに入力されます。

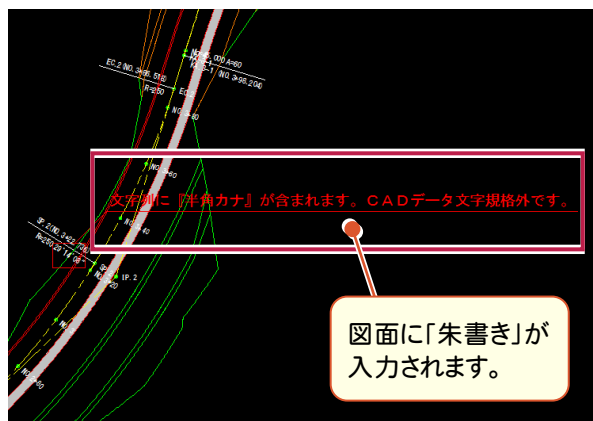
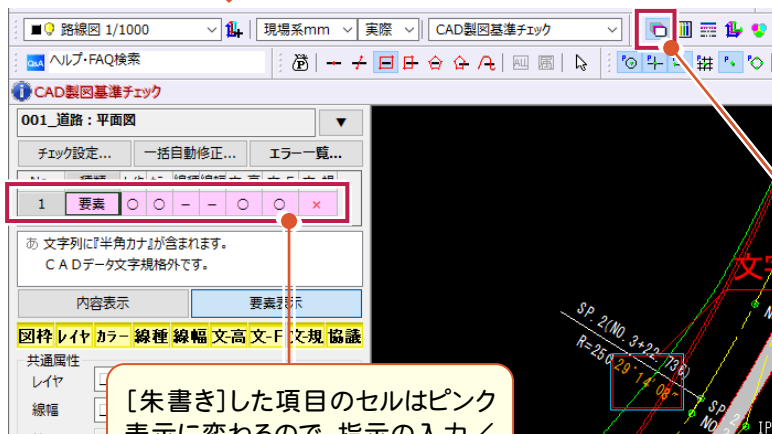


図面上のエラーの要素に、引き出し線と指示内容が朱書きされます。

[朱設定] ボタンをクリックして表示される [朱書き設定] ダイアログで、朱書きの詳細を設定できます。

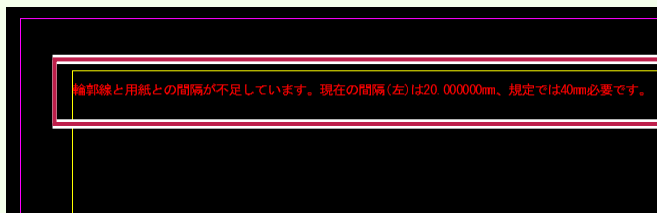


[表示色:レイヤ] に設定します。



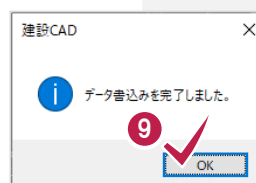
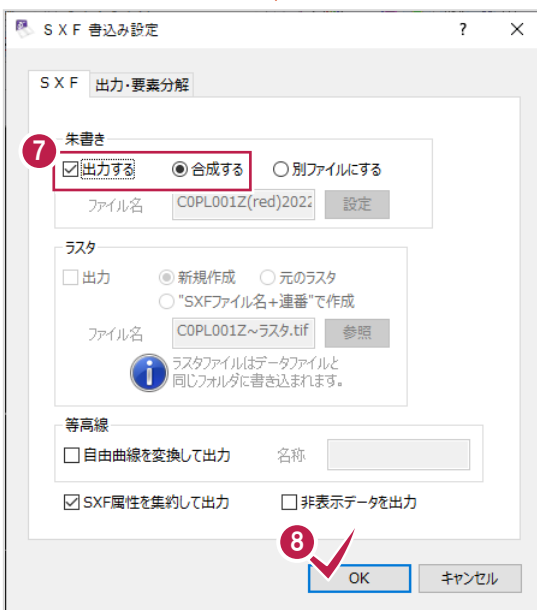
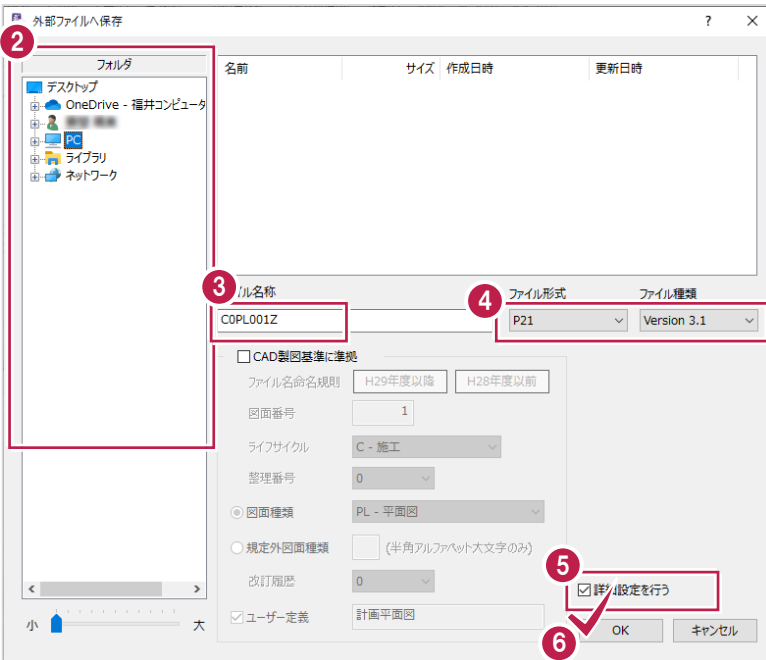
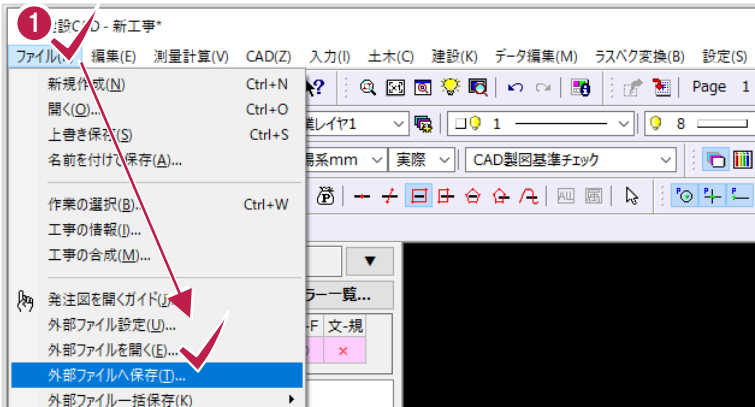
メモ

図面全体に関するエラー(図面・枠・レイヤなど)に対する指示は、用紙の左上に朱書きされます。



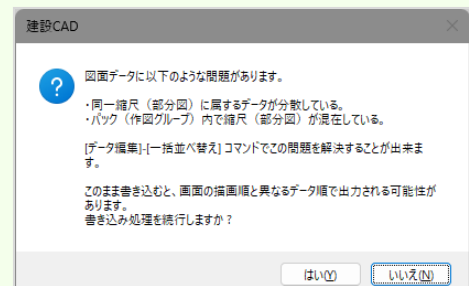
5-5 朱書きした図面ファイルを保存する

訂正箇所に朱書きを入力したデータを、[ファイル]－[外部ファイルへ保存]コマンドで別ファイルに保存します。



メモ

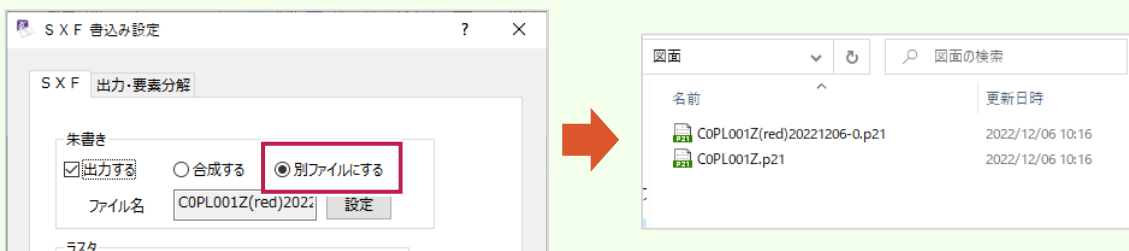
書き込み完了前に下図のようなメッセージが表示された場合は、描画順を変更するなどしてください(「はじめてみよう!官公庁編」P.24 参照)。



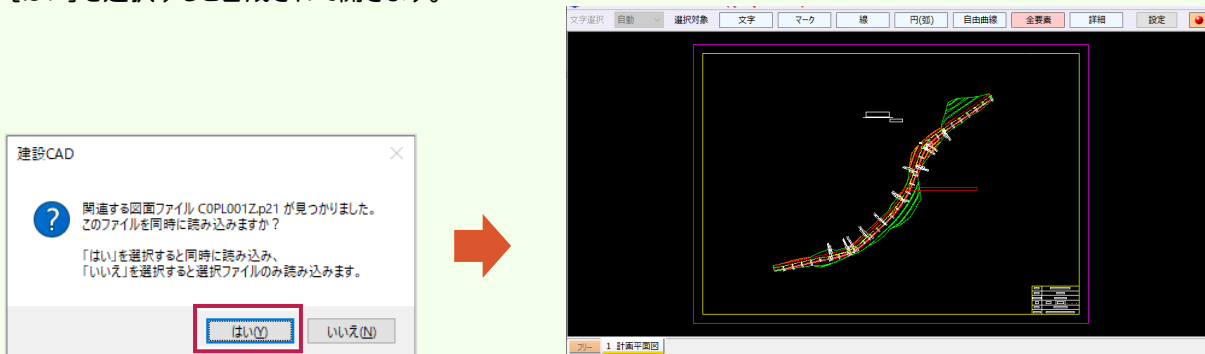
メモ

SXF 書き込み設定の「別ファイルにする」について

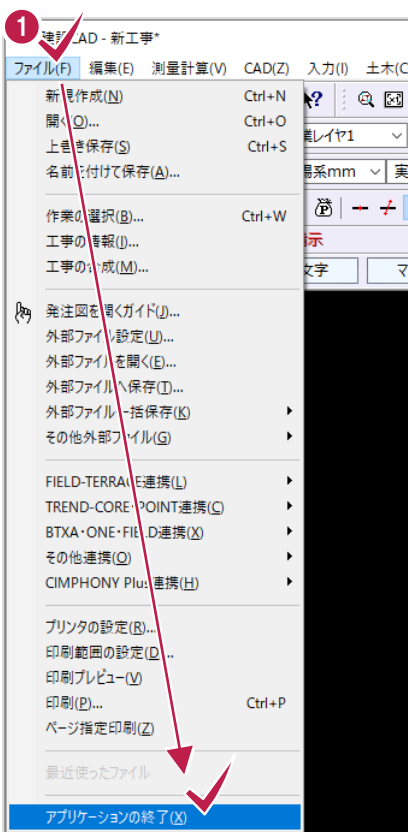
【別ファイルにする】を選択した場合は朱書きのファイルと元の図面ファイルが別々に保存されます。



開く場合には下図のようなメッセージが表示され、【はいえ】を選択すると選択したファイルのみ開き、【はい】を選択すると合成されて開きます。

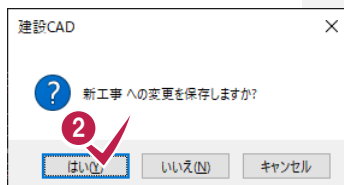


5-6 建設総合システムを終了する



1 [ファイル]–[アプリケーションの終了] コマンドをクリックします。

2 [はい]をクリックし、建設総合システムを終了します。



工事写真



納品された工事写真をコンピューターに取り込んで、検査しましょう。

- 1 電子納品検査プログラムの起動
- 2 工事写真の取り込み
- 3 納品データのチェック
- 4 工事写真のプレビュー確認

1 電子納品検査プログラムの起動

電子納品検査プログラムを起動して、使用する要領・基準案を選択しましょう。

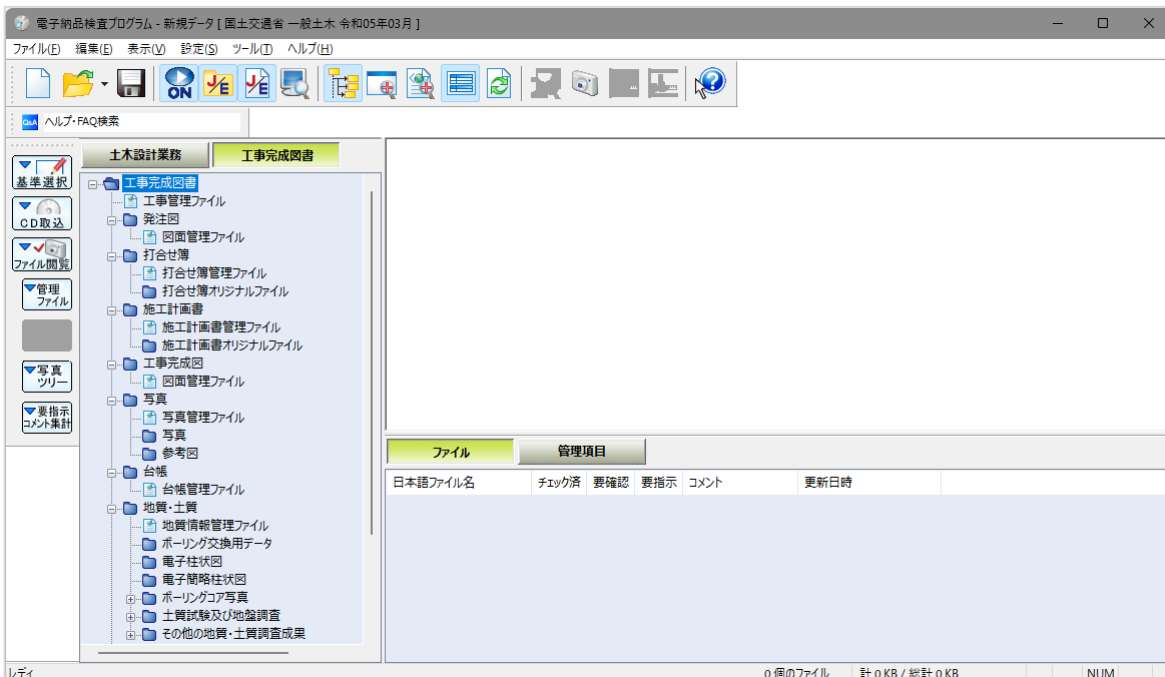
1-1 プログラムの起動と要領案の選択



1 電子納品検査プログラムを起動すると、「電子納品要領・基準案の選択」画面が表示されます。

上から順に、「地域」→「適用事業」→「分野」→「ガイドライン」→「要領・基準」を選択して[OK]をクリックします。

※本書は、「工事完成図書」の
 国土交通省
 令和05年03月
 工事完成図書の電子納品等要領
 令和05年03月版
 CAD製図基準
 平成29年03月版
 デジタル写真管理情報基準
 令和05年03月版
 地質・土質調査成果電子納品要領
 平成28年10月版
 で解説します。

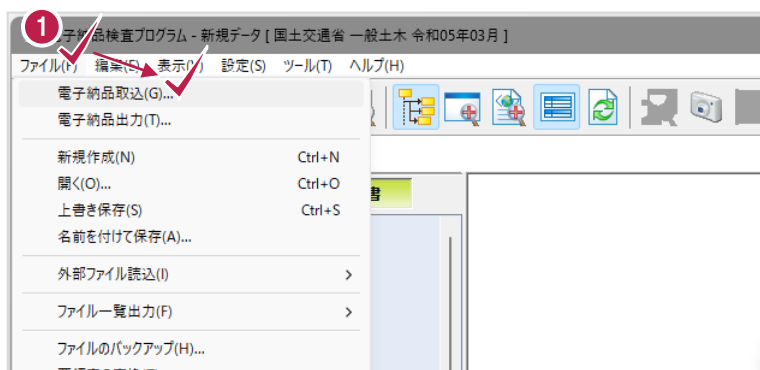


2 工事写真の取り込み

工事写真をコンピューターに取り込んでみましょう。

2-1 納品された工事写真をコンピューターに取り込む

電子納品検査プログラムに「工事写真」を取り込みます。

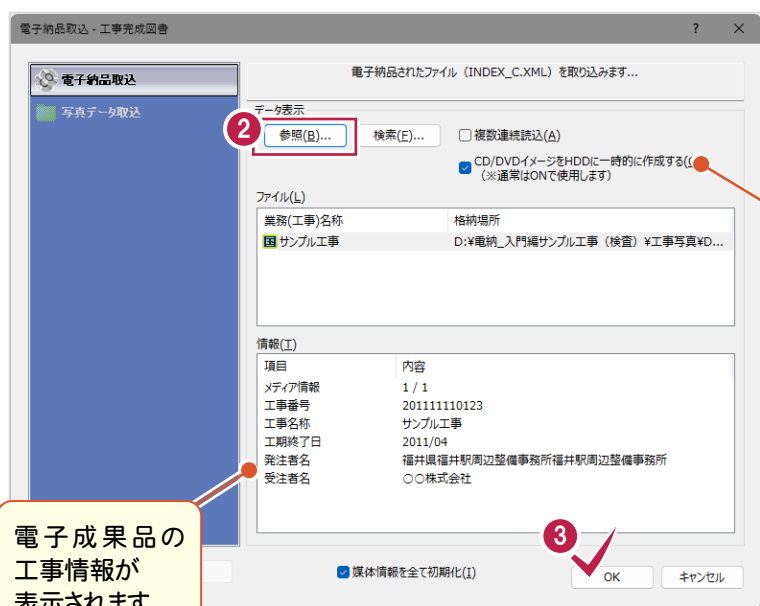


1 [ファイル] - [電子納品取込] コマンドをクリックします。

2 [参照] ボタンを押して、納品された工事写真の
“工事完成図書管理ファイル”
(INDEX_C.XML)
を開きます。

3 工事情報を確認し、[OK] をクリックします。

4 新規取り込みの確認のメッセージが表示されます。
[はい] をクリックしてください。



電子成果品の
工事情報が
表示されます。

「CD/DVD イメージを HDD に一時的に作成する」とは

CDまたはDVDの内容を、検査用にハードディスクにコピーします。特に複数枚にわたるCDまたはDVDを検査する場合は、コピーしないと正常に検査できません。

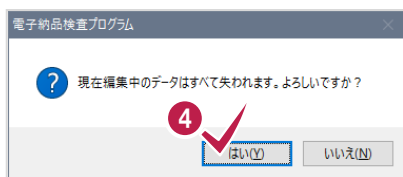
納品されたCDまたはDVDが1枚の場合は、チェック「オフ」でも検査可能ですが、CDまたはDVDをドライブに入れたままにしておく必要があります。

メモ

【写真データ取込】ボタンとは

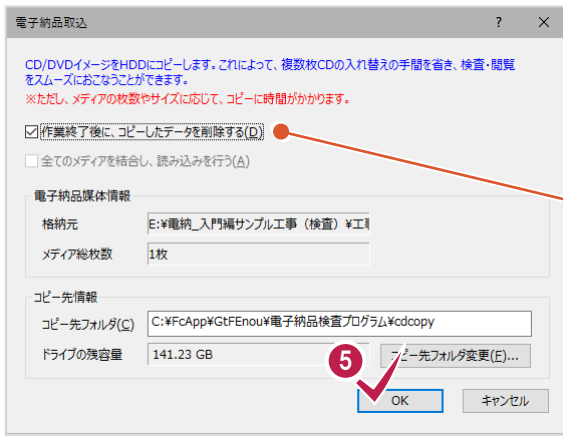
納品された工事写真に「INDEX_C.XML」が無い場合は、【写真データ取込】を選択して「PHOTO.XML」を指定して取り込みます。

ただしこの時表示される【追加で読み込む】チェックボックスは、「オフ」で読み込んでください。「オン」で読み込むと、「シリアル番号」「写真ファイル名」「参考図書ファイル名」がずれる可能性があります。



次ページへ

続き ↓

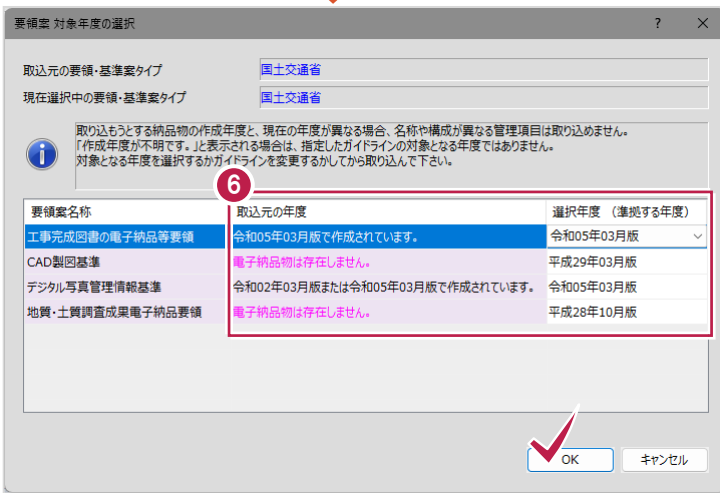


5 CDのハードディスクへのコピー先が表示されます。確認後、[OK]をクリックします。

CDまたはDVDの内容を、検査後もハードディスクに残しておきたい時は、チェックボックスを「オフ」にします。

コピー先のフォルダの場所を覚えておいて、使用しなくなったら忘れずにデータを削除してください。

↓

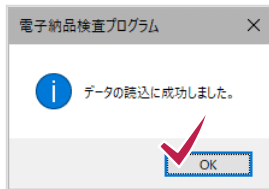


6 「取込元の年度」(電子成果品の年度)と、「選択年度(準拠する年度)」(検査プログラム側の年度)が表示されます。

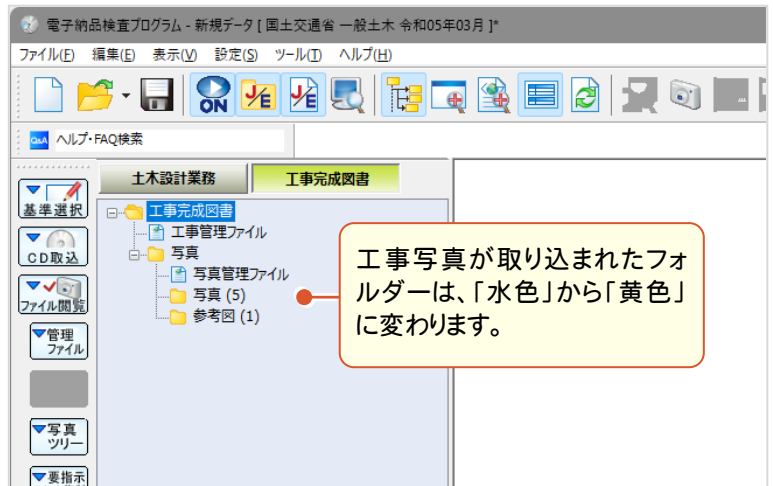
同一であることを確認して[OK]をクリックしてください。

工事写真が取り込まれます。

↓



→



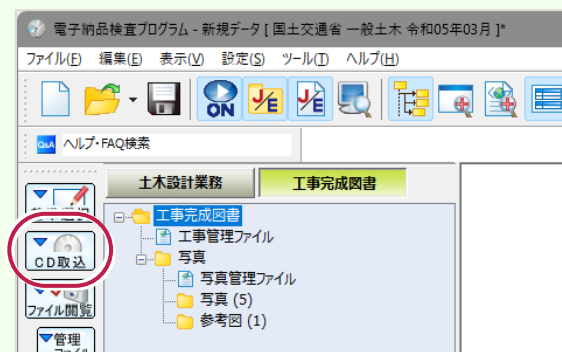
工事写真が取り込まれたフォルダは、「水色」から「黄色」に変わります。

メモ

電子納品データの取り込みは、コマンドバーからも行えます

コマンドバーの[CD 取込] ボタンで、電子納品データを取り込みます。

またコマンドバーから[CD 取込]を行うと、「取り込んだデータの納品チェック」(P.25 参照)が、続けて自動実行されます。

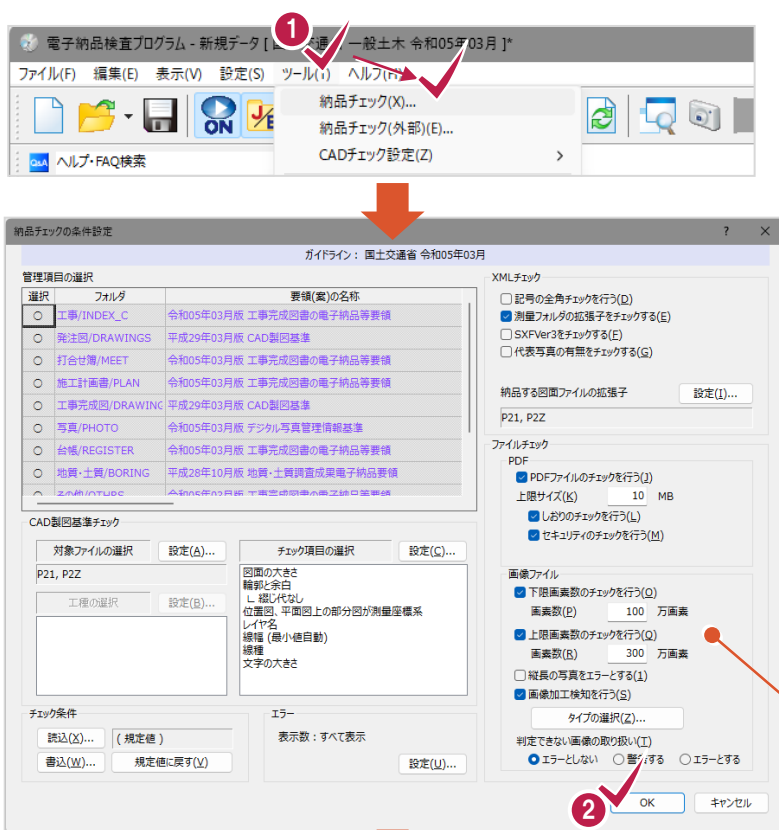


3 納品データのチェック

取り込んだ工事写真をチェックしましょう。

3-1 取り込んだデータの納品チェック

必須記入項目での入力漏れや、不適切な入力がないかを電子納品要領に基づいてチェックします。



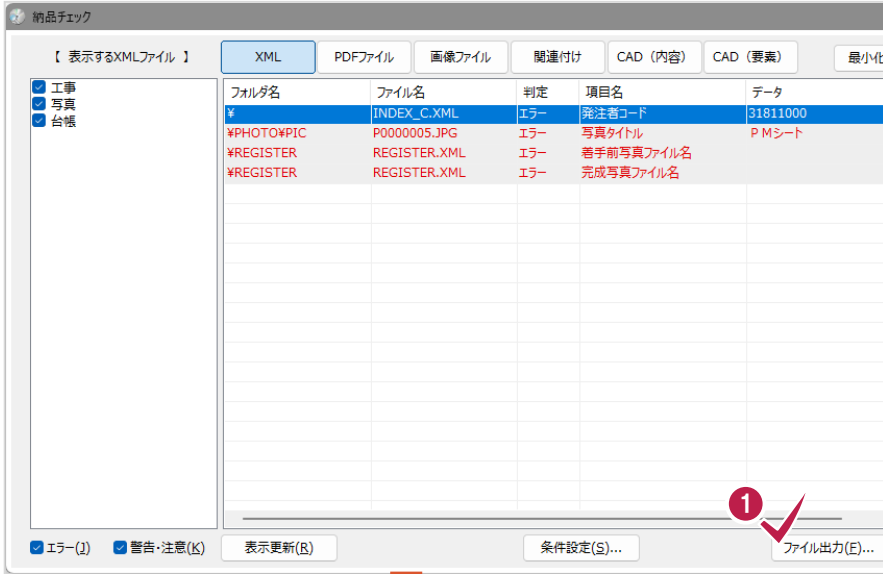
- 1 [ツール]－[納品チェック]コマンドをクリックします。
- 2 [納品チェックの条件設定]ダイアログが表示されます。
[XMLチェック][ファイルチェック]の各項目を、ガイドラインや受発注者間での協議などに従って設定し、[OK]をクリックします。
- 3 [納品チェック結果一覧]が表示されます。エラーが赤字でリスト表示されます。
(青字は注意事項)
各タブを切り替えてエラーを確認してください。

納品チェックの設定は、プログラムの起動時に選択した基準案によって自動設定されますので、通常は変更する必要はありません。



3-2 チェック結果の出力

チェック結果をファイル(CSVまたはEXCEL形式)に出力します。
 成果提出者に対し、メール等でファイルを送り、修正指示できます。



1 [ファイル出力] ボタンをクリックします。

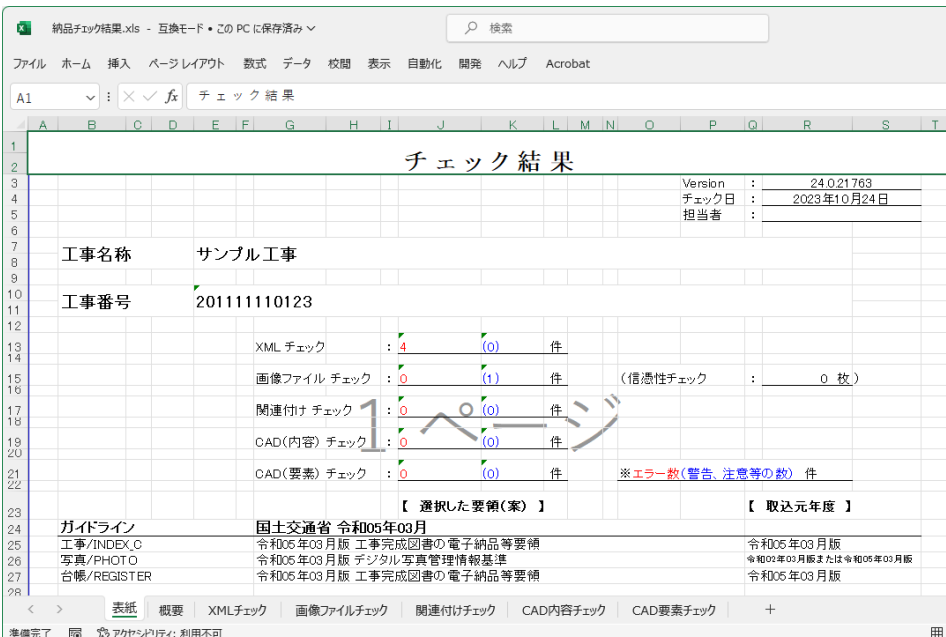
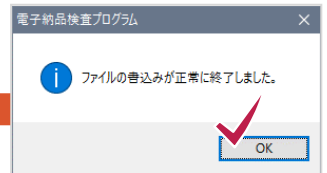
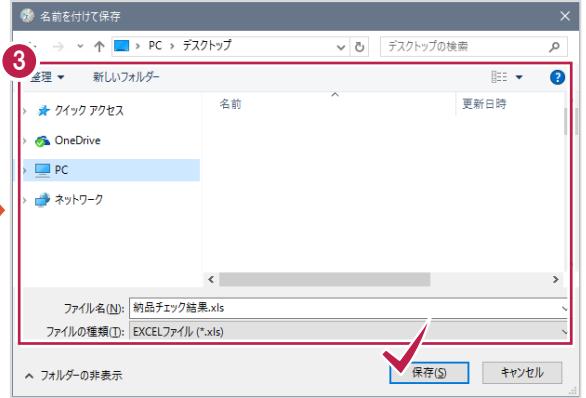
2 出力するタブと出力形式を選択して、[OK]をクリックします。

3 保存先のフォルダーとファイル名を指定して、[保存]をクリックします。

チェック結果が出力されます。



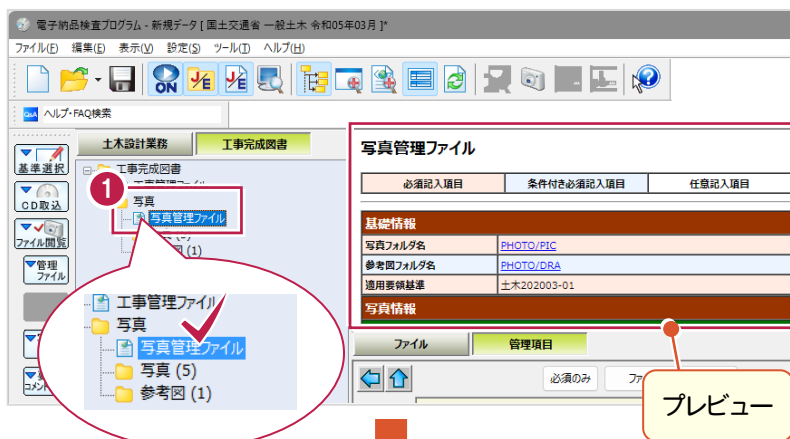
納品チェックの結果を、CSV形式またはEXCEL形式(XLS)で出力できます。



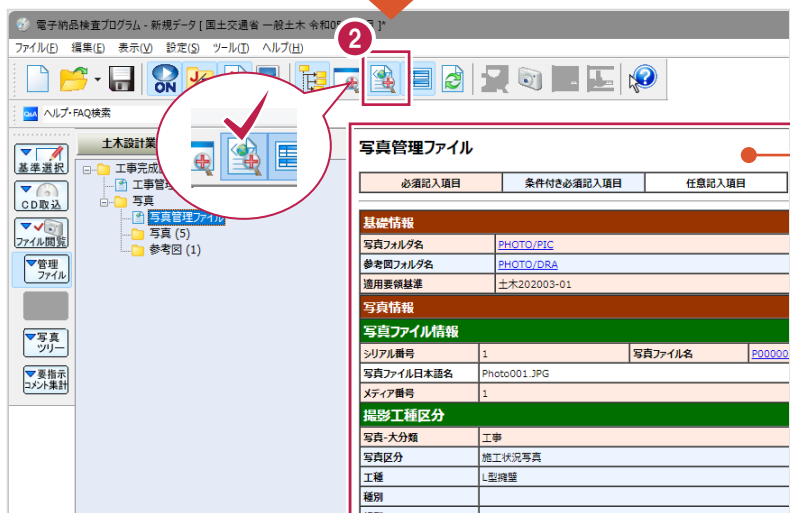
4 工事写真のプレビュー確認

工事写真をプレビューで閲覧・確認しましょう。

4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する



- 1 ツリービューで管理ファイル(XMLファイル)を選択すると、プレビューが表示されます。
- 2 ツールバーの[プレビュー画面の表示領域拡大]コマンドを「オン」にすると、プレビューが拡大されて見やすくなります。確認を終えたら「オフ」に戻します。



プレビューの表示領域を拡大して見やすくします。

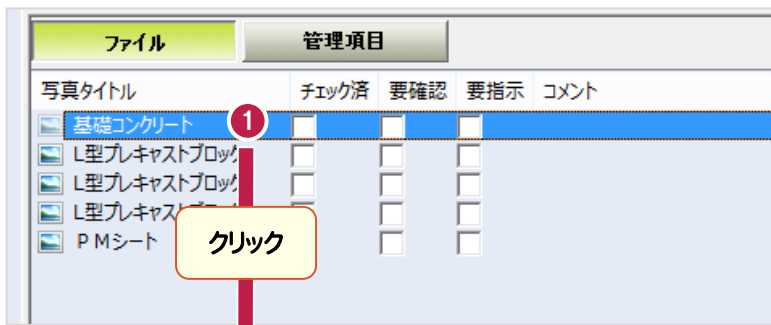


XMLファイルのプレビューでの操作 (印刷など)



プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」で行ってください。

4-2 工事写真を確認する (その1)



1 ツリービューで写真が格納されたフォルダを開き、リストビューで写真ファイルをクリックすると、プレビューが表示されます。

プレビュー



メモ

便利な機能その1

プレビュー画面上でマウス右ボタンをクリックして表示される[プロパティ]をクリックし、[グラフィック]タブの中の縮尺の設定を[図形全体]にしておく则表示が見やすくなります。

便利な機能その2

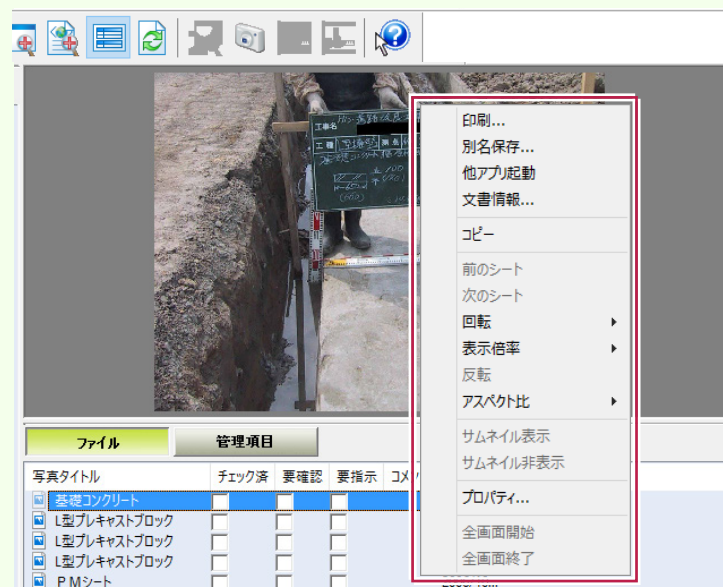
リストビューのファイルを右クリックして表示される[別ウィンドウでプレビュー]コマンドでは、プレビュー画面とは別にウィンドウが立ち上がり、写真を並べて表示できます。

この機能は図面や PDF データでも使えますので、色々な納品物を並べて表示させることができます。(最大9枚まで)

メモ

写真ファイルのプレビューでの操作

プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」で行ってください。



4-3 工事写真を確認する (その2)



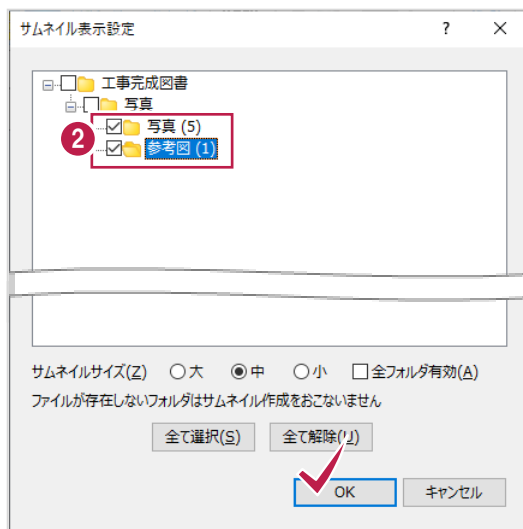
または



1 [設定]-[サムネイル表示]コマンドまたは[設定]-[インフォメーションサムネイル表示]コマンドをクリックします。

2 サムネイル表示設定で、「写真」フォルダと「参考図」フォルダをチェックし、[OK]をクリックします。

ツリービューで「写真」「参考図」フォルダを開くと、[ファイル]タブの表示が変わります。



メモ

写真だけでなく書類、図面なども同様にサムネイル表示にできます。

リスト表示に戻すには、[設定]-[リスト表示]コマンドをクリックしてください。

サムネイル表示

インフォメーションサムネイル表示




4-4 工事写真を確認する (その3)

1. EX-フォトビューアを起動する

各写真の管理項目に入力された「工種」または「撮影箇所」が、ツリー表示されます。

EX-フォトビューア



1 [表示]-[写真工種ツリー表示]コマンド、またはツールバーの 

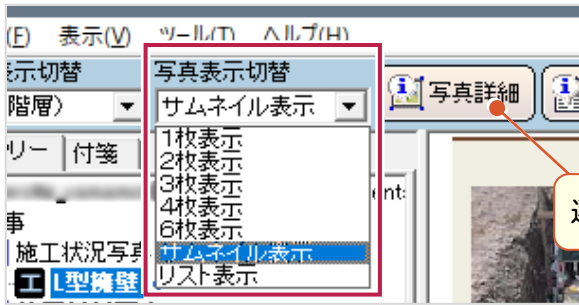
をクリックすると、写真閲覧ソフト「EX-フォトビューア」(左図)が起動します。

ツリーで選択した「工種」または「撮影箇所」の写真が一覧表示されます。

一覧で選択した写真の管理項目が表示されます。

メモ EX-フォトビューアでは、管理項目の内容変更はできません。

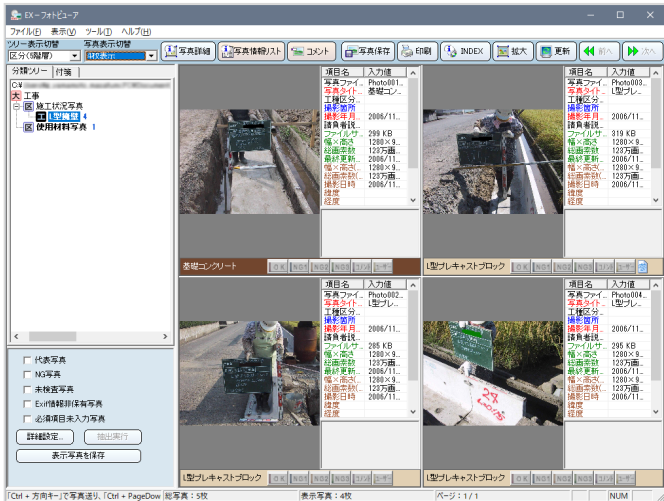
管理項目などの情報から、表示する写真を絞り込みます。



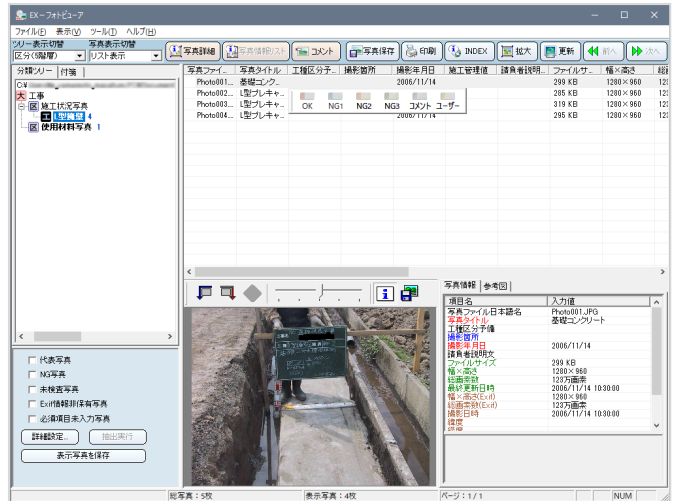
[写真表示切替]で、表示する写真の枚数を変更したり、「サムネイル表示」「リスト表示」に切り替えたりできます。

選択した写真の詳細情報を表示します。

4枚表示



リスト表示 ([写真詳細]ボタンを押した場合)



2. EX-フォトビューアで、写真をチェックする

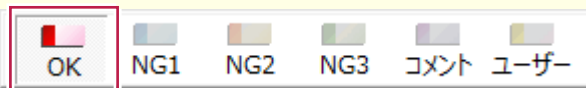


1 写真を目視でチェックします。

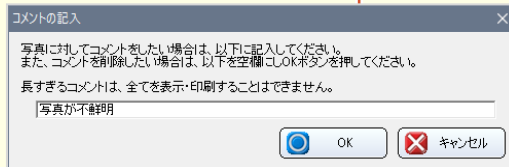
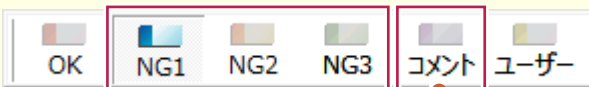
OKの場合は、[OK]の付箋をクリックして設定し、NGの場合は、[NG1][NG2][NG3]の付箋をクリックして設定します。(複数設定可)

[コメント]の付箋には、コメントが入力できます。

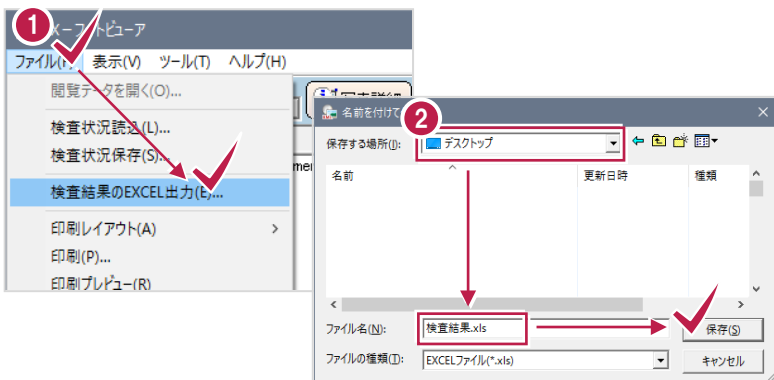
OKの場合



NGの場合 (NG1~3の内容(名称)については、[ツール]-[設定]で確認・変更ができます。)



3. チェック結果を出力する



1 [ファイル]-[検査結果のEXCEL出力]コマンドをクリックします。

2 保存先のフォルダーとファイル名を指定して、[保存]をクリックします。

チェック結果がエクセル形式で出力されます。

No	ファイル名	撮影箇所	チェック	コメント
1	基礎コンクリート		NG	追記、写真が不鮮明
2	L型プレキャストブ		OK	
3	L型プレキャストブ		OK	
4	L型プレキャストブ		OK	
5	PMシート		NG	誤記
6				
7				
8				

メモ

すべての写真のチェック結果を出力する場合は

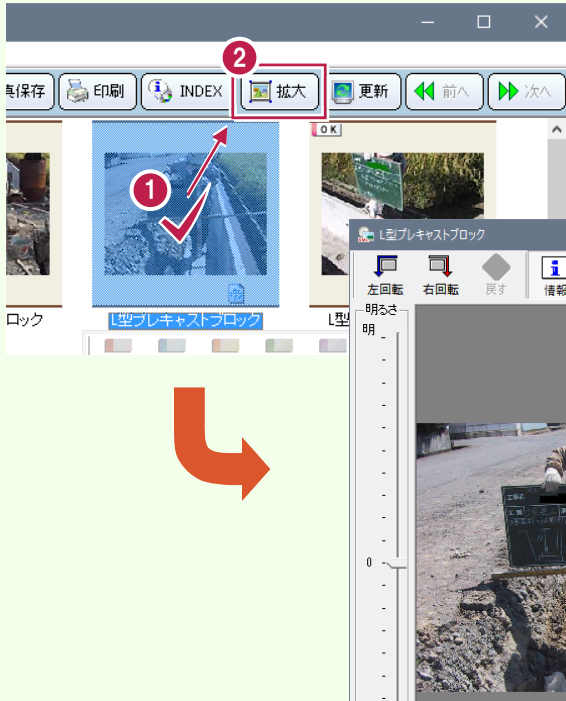
チェック結果には、現在表示されている写真のチェック結果が出力されます。

すべての写真のチェック結果を出力する場合は、分類ツリーで最上層の工事を選択してから、チェック結果を出力してください。

またこのとき分類ツリーの下ボックスで、写真が絞り込まれていないようにしてください。

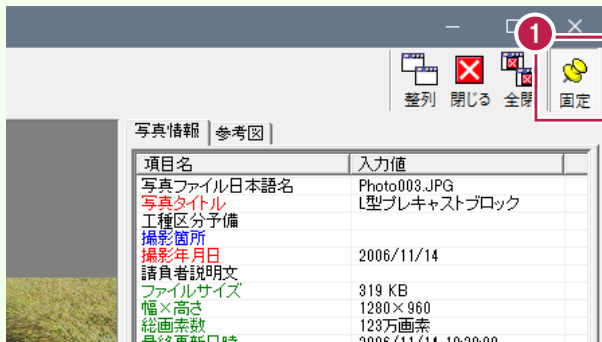
メモ

写真を拡大表示するには



- 1 拡大表示したい写真を選択します。
- 2 [拡大] ボタンを押すと、別ウィンドウで拡大表示されます。

写真の拡大表示を追加するには



- 1 拡大写真の[固定]ピンを、オンにしてください。

別の拡大表示したい写真を選択して、[拡大] ボタンを押すと、新しいウィンドウで拡大表示されます。
(最大6枚)

※[固定]ピンをオンにしない場合は、拡大写真が切り替わります。

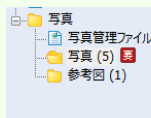
[固定]ピンを「オン」にした写真は、最大6枚まで表示できます。

メモ

EX-フォトビューアと電子納品検査プログラムは双方向に連動します

■EX-フォトビューア→電子納品検査プログラムの場合

EX-フォトビューアで[OK]の付箋を付けた写真は、[チェック済]チェックボックスが「オン」になります。
[NG1][NG2][NG3][ユーザー]の付箋を付けた写真は、[要確認]チェックボックスが「オン」になります。
[コメント]付箋の内容は、[コメント]欄に連動します。
ツリービューには「要」マークが付きます。



ファイル	管理項目			
写真タイトル	チェック済	要確認	要指示	コメント
基礎コンクリート	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	写真が不鮮明
L型プレキャストブロック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
L型プレキャストブロック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
L型プレキャストブロック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
P.Mシート	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

■電子納品検査プログラム→EX-フォトビューアの場合

電子納品検査プログラムで付けたチェックやコメントはEX-フォトビューアに連動します。
[要確認]チェックボックスをオンにすると、EX-フォトビューア起動時に確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると[NG1]の付箋が付きます。